



●  
一般  
共通  
事項

(3) 屋内露出配管の施工

屋内露出配管の保温見切り箇所には菊巻を、また分岐曲がり部等にはバンドをつけるものとする。なお、材質は全て冷間圧延ステンレス製とし、バンド幅は保温外径150mm以下は20mm、150mm以上は25mm、菊巻は全て50mmとする。

(4) 給水管・排水管保温仕様

施工箇所	材 料 及 び 施 工 順 序	参 考 施 工 箇 所
屋 内 露 出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. 合成樹脂製カバー	一般居室、廊下
屋 内 隠 蔽	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. アルミガラスクロス	機械室、書庫、倉庫
屋 内 隠 蔽 (ドレン蓋)	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 防鼠ミカラスクロス	天井内、パイプシャフト
床 下	1. 保温チューブ巻き（ライトカバー） 2. ビニルテニフ（1 m間隔）	空腔壁内
屋 外 露 出	1. ポリスチレンフォーム保温筒 2. 粘着テープ 3. ポリスチレンフィルム 4. ステンレス鋼板	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む）及び浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）

注 1. 給水管及び給湯用の配管で、保温を行う呼び径6 5以上の弁、ストレーナー等は、ピスにより容易に着脱できるステンレス鋼板による外装を施す。  
2. ポリスチレン保温筒の使用困難な箇所は、ロックウールフェルト、グラスウール保温帯又は、波型保温板を使用してもよい。  
3. 別途図示等の指示がある場合はそれによる。

製造所名及び施工業者名を容易に消えない方法で記載した銘板を、扉付は扉裏面に、扉なしは全面板の見えがかりのよい位置に取り付ける。

標準仕様書第2編によるほか下記による。

(1) 屋内及び屋外露出部で塩化ビニル管（カラーパイプを除く）使用時の排水管、通気管、排気管及びビニル製付属品等は、塩化ビニル系エナメル 2 回塗りとする。

(2) 鉄鋳製マンホール蓋、各種ボックス用鉄鋳製蓋、その他の鉄鋳製品は、タールエポキシ塗りとする。

(3) 浄化槽、グリーストラップなどの鋼板製蓋は、溶融亜鉛めっきとする。

(4) 垂鉛めっき銅管、ライニング銅管などのネジ山部分、その他サビでの恐れのある部分は、全て高濃度亜鉛塗装料（参考品名：ローブル）でサビの防止処置をする。

標準仕様書第2編によるほか下記による。

(1) 給水配管は、試験圧力1.0MPa(10kg/cm2) 以上とし、保持時間は60分以上とする。但し、配水本管から第 1 止水栓までは、鹿児島市水道局施工基準（試験圧力：サドル分水栓1.75MPa(17.5kg/cm2)、保持時間1分以上）、不銹鋼 T 字管1.0MPa(10.0kg/cm2)、保持時間1分以上）による。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督員と協議することとする。

(2) 給湯配管は、試験圧力1.75MPa(17.5kg/cm2) 以上とし、保持時間は60分以上とする。なお、上記にそぐわないと判断される場合は、監督員と協議することとする。

(3) 冷暖配管は、標準仕様書に基づく耐圧試験を行うこととし、保持時間は24時間以上とする。

(1) 標準仕様書第1編及び鹿児島市機械設備工事「提出書類作成要領」による。

(2) 施工図等の著作権に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。竣工時に、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修機械設備工事監理指針第 1 編による、竣工時中長期保全計画書（長期保全計画書）を作成する。作成方法は、監督員の指示による。

ヤンバルトサカサデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の搬入に当たっては、次の各号を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカサデの様態が確認された場合は、まん延防止対策を講ずる必要があるため、様態状況等の調査を行い、監督員に報告すること。

(1) 土・樹木等の措置  
ア 発生地区からの搬出を極力抑えることを原則とする。  
イ 廃棄樹木等については、一般廃棄物、産業廃棄物が取扱い可能な焼却施設で焼却処理する。  
一般廃棄物：市町村の所管する焼却施設、業の許可を有している民間焼却施設  
産業廃棄物：業の許可を有している民間焼却施設  
(2) 工事区域周辺部の措置  
周辺部への拡散を防止するため、周辺部に薬剤散布等の措置を行う。  
(3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合の措置  
ア 薬剤処理・薫蒸処理後、搬出する。  
イ 薬剤処理の困難な農作物等の搬出の場合は付着土壌の除去目視除染後搬出する。  
(4) 発生地区に搬入した建設機械や農・林業工作機械の措置  
付着土壌の除去並びに薬剤処理後、搬出する。  
(5) 未発生地区での措置  
発生地区からの土・樹木等の搬入や農・林業工作機械の移動等があった場合は、上記（３）、（４）の措置が講じられているかを確認する。

○  
空気調和  
と  
冷暖房・換気設備

1 設計用途温度条件

	室内 条 件				屋 外 条 件			
	温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]	温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]	温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]	温度 (DB) [℃]	湿度 (RH) [%]
夏 期	26.0	50	31.4	34.0	34.7	34.1	73.5	63.9
冬 期	22.0	40			3.4			65.9

銅板厚（ ・ 3.2mm ・ 4.5mm ）  
・ 低圧ダクト（ ・ アングルフランジ工法 ・ スパイラルダクト ・ コーナーボルト工法（長さの長さが1,500mm以下の部分））  
・ その他のダクト（ ・ VU ・ VP ）  
一般空調用機器、換気扇はアルミ製、レンジフード等火を使用する場所は鉄製、浴室等湿気のある場所は樹脂製とし使用範囲は、最小限とする。

取付箇所は下記による。  
・ 図示した位置 ・ 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト  
・ 外気取入れダクト ・ 空調機出口チャンバーの分岐ダクト

(1) 内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。  
(2) 空気調和機、温風暖房機に取り付けるサプライチャンパー、レタンチャンパー及び風道系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、大きさは図示による。  
(3) ガラリに直接取り付けるチャンパー類は雨水の滞留のないように施工する。

(1) 防煙ダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ）  
定格入力はDC24V、0.7A以下とする。  
(2) ピストンダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ）

8 配管材料

種 別 区 分使 用 材 料

冷水水管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めつき鋼管 SGP-W
冷却水管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 水配管用垂鉛めつき鋼管 SGP-W
油 管	一 般 地中埋設 給 気 管 配管用炭素鋼鋼管（黒）
蒸 気 管	還 管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40
膨 張 管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 配管用炭素鋼鋼管（白）
空気抜き管	・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・ 硬質塩化ビニル管 VP
ドレン管	・ 硬質塩化ビニル管 VP
補給水管	・ 水道用硬質塩化ビニルインゲ鋼管 SGP-VB ・ 断熱材被覆鋼管
冷 媒 管	・ 断熱材被覆鋼管

図面に明記なき場合は（ ・ JIS5K ・ JISIOK ）とする。  
取付部は標準仕様書によるほか下記による。なお、温度計は工業用バイメタル式温度計（目盛板外径100φ）とする。  
・ ボイラーの温水管（入口側）  
・ 温風暖房機の吐出ダクト、レタングダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンパー  
・ 温水発生機の温水管（出入口側）  
・ 冷凍機の冷水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側）  
・ 直置き吸収冷水水機の冷水水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側）  
・ 空気調和機の冷水水管（出入口側）  
・ 空気調和機（パッケージ形を含む）のサブライチャンパー、レタングダクト、外気取入れダクト及びレタンチャンパー  
・ 冷水水ヘッダー（往）及び各返り管  
・ 熱交換器の温水管（出入口側）  
取付部は標準仕様書によるほか下記による。  
・ 温水発生機の温水管（出入口側）  
・ 冷凍機の冷水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側）  
・ 直置き吸収冷水水機の冷水水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側）  
・ 空気調和機の冷水水管（出入口側）  
・ 熱交換器の温水管（出入口側）  
コック付とし、取付部は標準仕様書によるほか下記による。なお、着脱型の指示部は各サイズ1個付属とする。  
取付部は標準仕様書によるほか下記による。  
・ 温水発生機の温水管（入口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。  
・ 冷凍機の冷水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。  
・ 直置き吸収冷水水機の冷水水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。  
・ 空気調和機の冷水水管（入口又は出口側）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。  
・ 冷水水ヘッダーの（ ・ 各送り管 ・ 各返り管 ）に（ ・ 固定形 ・ 着脱形 ）を設ける。  
制御室には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 満油警報 ・ 速漏警報 ・ 電磁弁制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 減油警報 ・ ）の端子を設ける。  
なお、フロートスイッチ部と制御室間の配管配線は、製造者の標準仕様とする。  
標準仕様書第2編によるほか、下記による。  
・ 選りダクトの保温要（保温の厚さ25mm、範囲は空調室及び空調室天井内を除く）  
・ 外気ダクトの保温要（保温の厚さ25mm、図示及び下記範囲の保温を行う）  
・ 空調室の室内及び天井内 ・ 電気室 ・ 発電機室  
・ 多湿箇所の室内及び天井内 ・ エレベーター機械室  
・ 膨張タンクよりボイラー等への補給給水管及び建物内の空気抜き管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の膨張管の項による。  
・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編の3.1.5の排水管の項による。  
・ 消音内貼りの施工範囲は図示したダクト及びチャンパー類とする。  
使用箇所は下記による。  
・ 図示の箇所 ・ 給排気ファンのダクト接続部  
・ ユニット形空気調和機のダクト接続部（機内防振機器を除く）  
パッケージエアコン及びルームクーラー等の室外機は、防護ゴムパット（厚さ15mm以上）の上に、ステンレス製アンカーボルトにて固定する。  
室外機塗装（ ・ 標準仕様 ・ 耐塩害仕様 ・ 耐重塩害仕様 ・ その他）塗装仕様については、製造者の仕様とする。  
施工完了時に所定の試運転調整を行うことを原則とするが、完成後 1 年間は、冷房及び暖房時期に入る直前にも、各試運転調整を行うと共に、関係者に対し取り扱い説明を受注者の負担において行う。  
また、施工完了時に行った試運転調整は、機器等の運転状態の記録表及び測定結果をまとめた測定表を作成し、速やかに提出する。  
測定表には、測定器名、測定日時及び測定者名を記入し、測定点を示した図面を添付する。  
(1) フルオロカーボン（フロン）を使用している機器を撤去する場合は、事前にガスの回収を行うこと。  
(2) 回収したガスは、全て破壊処理するものとする。  
(3) 回収フロン破壊証明書を提出すること。  
(4) 回収及び破壊処理については、フロン排出抑制法に従い、「フロン回収行程管理票」を使用してフロン回収行程の適正な管理を行うこと。  
(5) 「フロン回収行程管理票」を含む、冷媒ガスの処理に係わる費用は全て受注者の負担とする。  
標準仕様書によるほか下記の予備品を備える。  
・  
・

○  
衛生器具設備

1 器具及び付属品

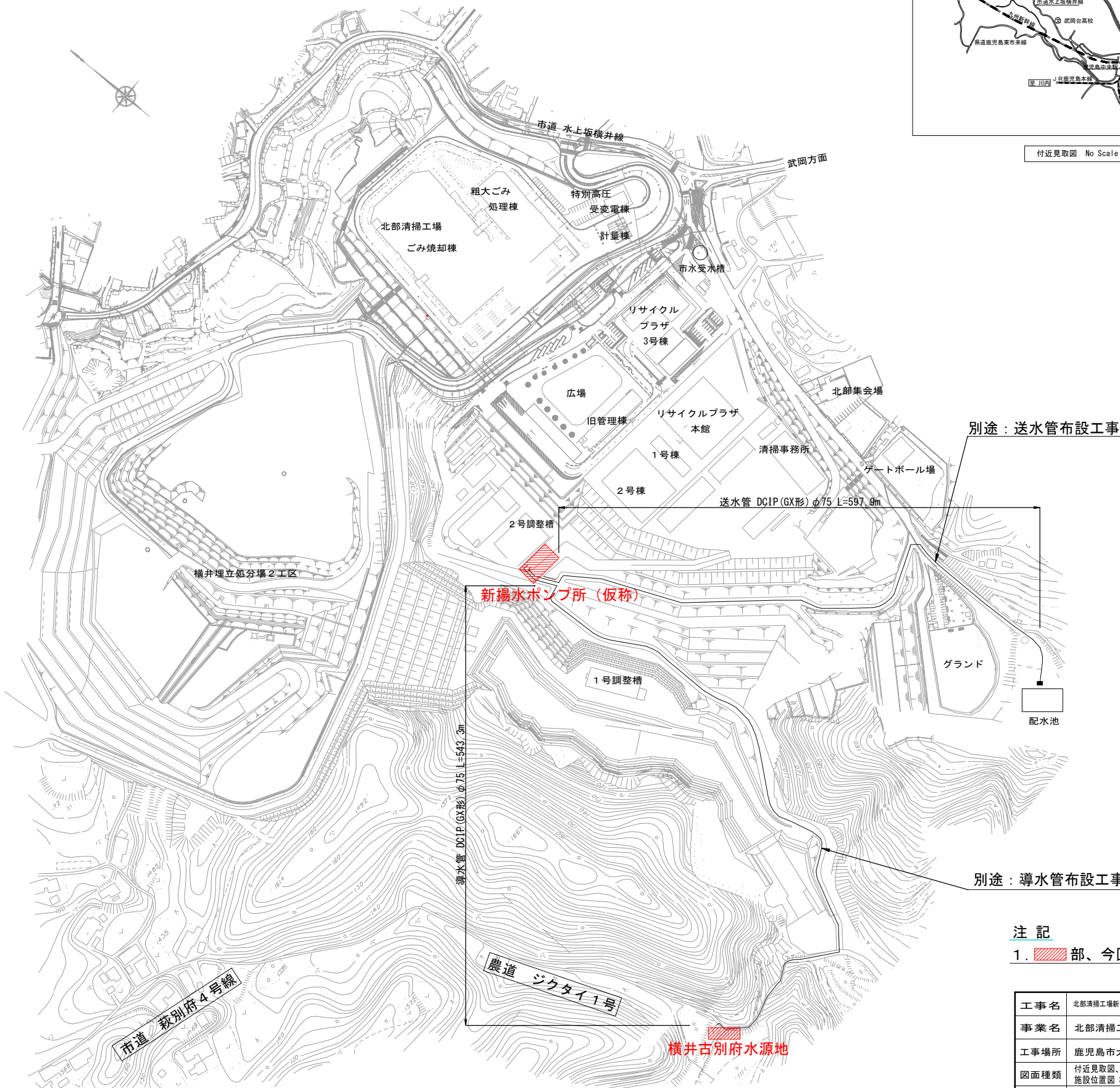
(1) 大・小便器用標記板は、陶器製（原則として衛生器具と同色）とし、



### 工事区分表

施設名称	項 目	本体その他の 施工	機械設備工事 (本工事)	電気設備工事	専用水管配管工事	送水管配管工事	備考
新橋水ポンプ所仮称	場内整備	掘削・埋戻し	○	○	○	○	各工事別
		掘削・埋戻し（配管共通部分）			○	○	
		舗装剥ぎ取り	○		○	○	各工事別
		舗装復旧（床掘・配管共通部分）			○		
		舗装復旧（電線管単独部分）			○		
	躯体関係	構造物設備用貫通箱入れ及びスリーブ	○	○	○		各工事別（予備スリーブ含む）
		同上開口補修	○				
		同上開口補修		○	○		各工事別
		躯体配管（防水つば付き配管）			○		
		同上開口補修	○				
		防水塗装（ポンプ井内）	○				
		シンダーコンクリート	○				
		次重防液堤	○				
		耐薬品塗装			○		防液堤内
	設備基礎	床土機器基礎	○				機械・電気設備基礎
		仕上げ・架台・アンカーボルト等		○	○		各工事別
	場内配管	埋設配管（導水管）				○	取合い部フランジ接合含む
		埋設配管（送水管）				○	取合い部フランジ接合含む
		埋設配管（排水管）				○	
	建築付帯		露出配管（ポンプ井内外）		○		
		露出配管（ポンプ室内機器周り配管）		○			配管サポート含む
		グレーチング（枠、設置含む）					ポンプ室内
		衛生設備（給水栓、手洗い器）		○			
		衛生設備（給水管）		○			サンプリングから分岐
		換気設備（換気扇）		○			深型フード含む
		電気設備（照明器具、配線器具、分電盤）		○			レースウェイ含む
送水ポンプ設備		送水ポンプ制御盤			○		
		送水ポンプ			○		
		同上周辺仕切弁等			○		
次重注入設備		同上電源送り			○		配線接続含む
	次重注入設備	次重注入設備制御盤			○		
		次重タンク			○		
		同上液位計			○		信号送りは電気設備
		次重注入ポンプ			○		
		同上電源送り			○		
		次重注入管、次重貯留槽通気管			○		
		防液提漏液検知電極			○		
	計装設備	電極切替・中継箱収納盤			○		
		送水流量計			○		
横井古別府水源地		同上検出器フランジ接合			○		材料は電気設備より支給
		ポンプ井水位計			○		
		ポンプ井満度計			○		
		ポンプ井残留塩素計			○		
		サンプリングポンプ			○		
		サンプリング管（引込管、ポンプから計器）			○		
		水質計器排水管			○		
	場内整備	掘削・埋戻し			○	○	各工事別
		掘削・埋戻し（配管共通部分）				○	
		舗装復旧				○	
設備基礎	床土機器基礎及び仕上げ			○	○	機械・電気設備基礎（床掘り共）	
	架台・アンカーボルト等			○	○	各工事別	
場内配管	埋設配管（導水管）				○	取合い部フランジ接合含む	
	露出配管（機器周り配管）			○		配管サポート含む	
引込設備	引込開閉器盤			○			
	引込柱			○		コンクリート根柢含む	
取水ポンプ設備	取水ポンプ制御盤			○			
	取水ポンプ			○		付属電源ケーブル含む	
	同上電源送り			○		P. BOX内で配線接続	
	同上揚水管（深井戸内）			○		フランジ接合含む	
	取水井水位電極			○		P. BOX内で配線接続	
	同上取付			○			
	圧力タンク			○			
	ポンプ井保護管コンクリート補強			○			
計装設備	取水流量計			○			
	同上検出器フランジ接合			○		材料は電気設備より支給	
	取水井水位計			○			
北都清排水工場配水池		同上保護管			○		予備も含む
	場内整備	掘削・埋戻し			○	○	各工事別
		掘削・埋戻し（配管共通部分）				○	
	場内配管	埋設配管（導水管）				○	躯体貫通処理含む
	引込設備	引込開閉器盤			○		
		引込柱			○		コンクリート根柢含む
	計装設備	計装テレメーター盤			○		
		電極切替・中継箱収納盤			○		
		配水池水位計			○		
		配水池電極			○		
導水管・送水管	公道上整備	掘削・埋戻し			○	○	各工事別
		掘削・埋戻し（配管共通部分）				○	
		舗装剥ぎ取り・復旧			○	○	各工事別
		舗装剥ぎ取り・復旧（配管共通部分）			○		
	公道内配管	埋設配管（導水管）				○	
		埋設配管（送水管）				○	
	制御ケーブル敷設	埋設ケーブル（水源地～揚水ポンプ所）				○	
		同上布設（配管並走部分）				○	
		同上布設（ケーブル単独部分）			○		盤内での配線接続含む
		埋設ケーブル（揚水ポンプ所～配水池）				○	
	同上布設（配管並走部分）				○		
	同上布設（ケーブル単独部分）			○		盤内での配線接続含む	

## 施設位置図

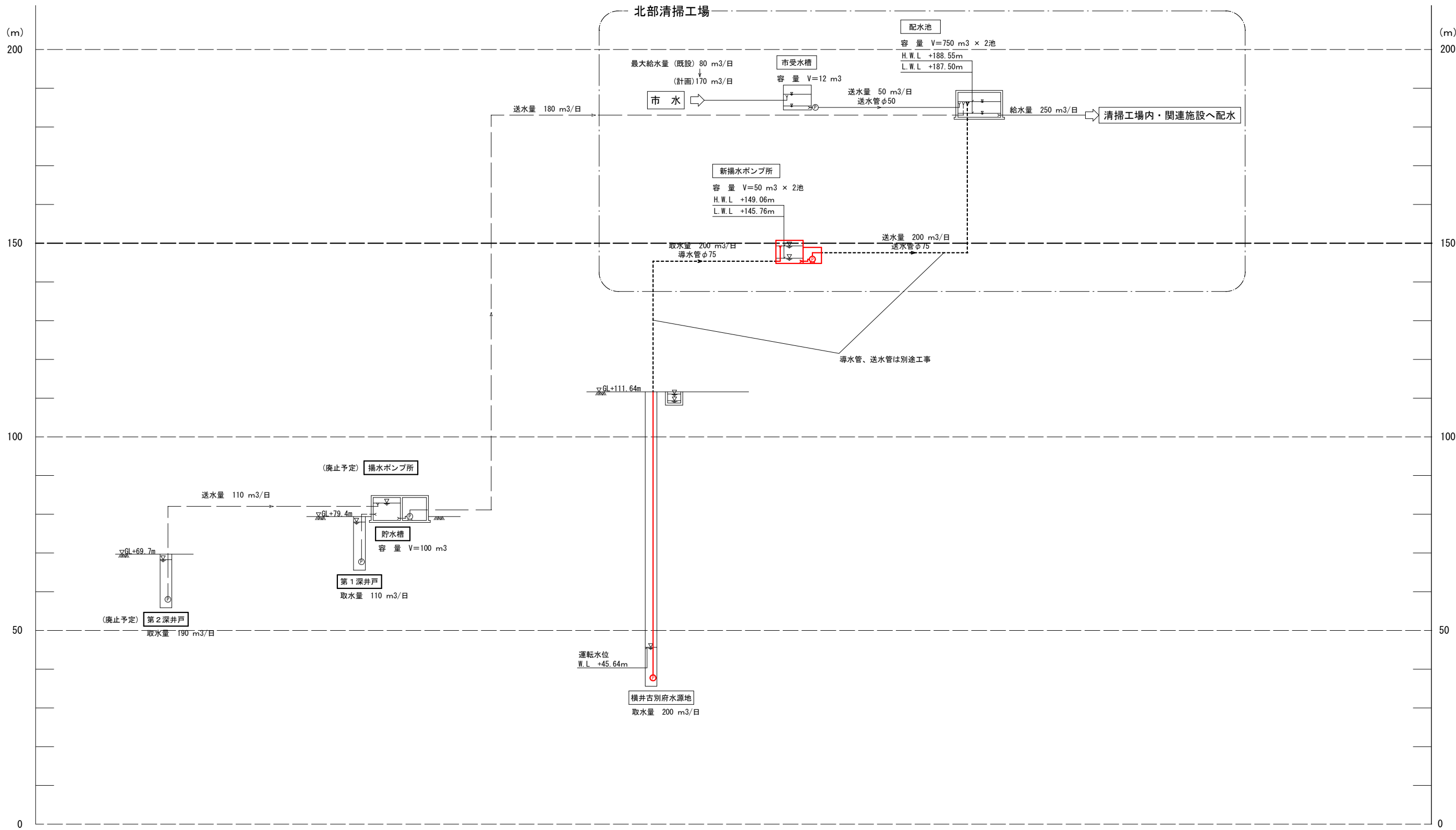


注 記

1.  部、今回対象施設を示す。

工 事 名	北部清掃工場新排水ポンプ所（仮称）新築ほか1箇所機械設備工事
事業 名	北部清掃工場施設整備事業
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか
図面種類	付近見取図、工事区分表 S-NNONE (A3版S-NNONE) 施設位置図 S-1:2000 (A3版S-1:4000)
図面番号	全 16 の 3      作成年月      令和 7 年 3 月
鹿児島市    環境局    資源循環課    北部清掃工場	

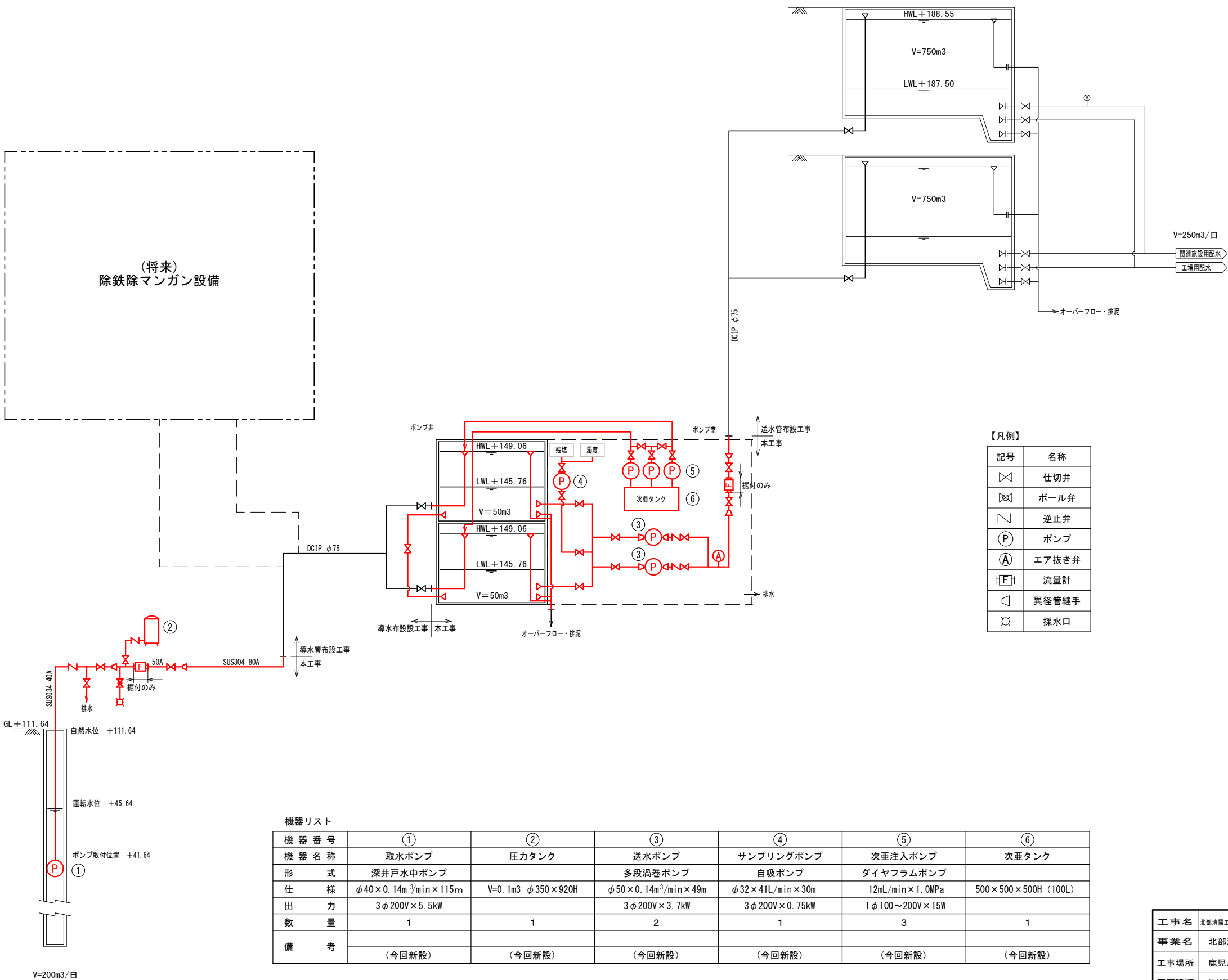
水位高低図



— 新 設  
— 既 設  
— 廃止・撤去(予定)

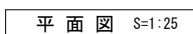
注記)  
1. 線部は、本工事範囲を示す。

工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所(仮称)新築ほか1箇所機械設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	水 位 高 低 図 S=NONE		
図面番号	全 16 の 4	作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場			



注記)  
1. 線部は、本工事範囲を示す。  
2. 機器リストの機器仕様については、別紙参照のこと。

工事名	北部清掃工場新排水ポンプ所(仮称)新築ほか1箇所機械設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	機械設備フローシート S-NONE		
図面番号	全 16 の 5	作成年月	令和 7年 3月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場			

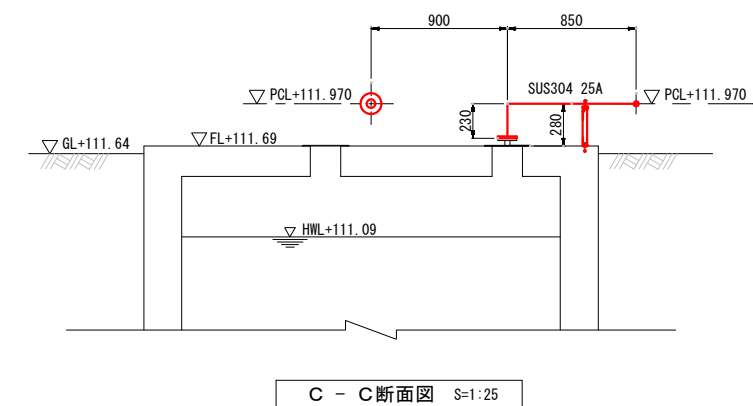
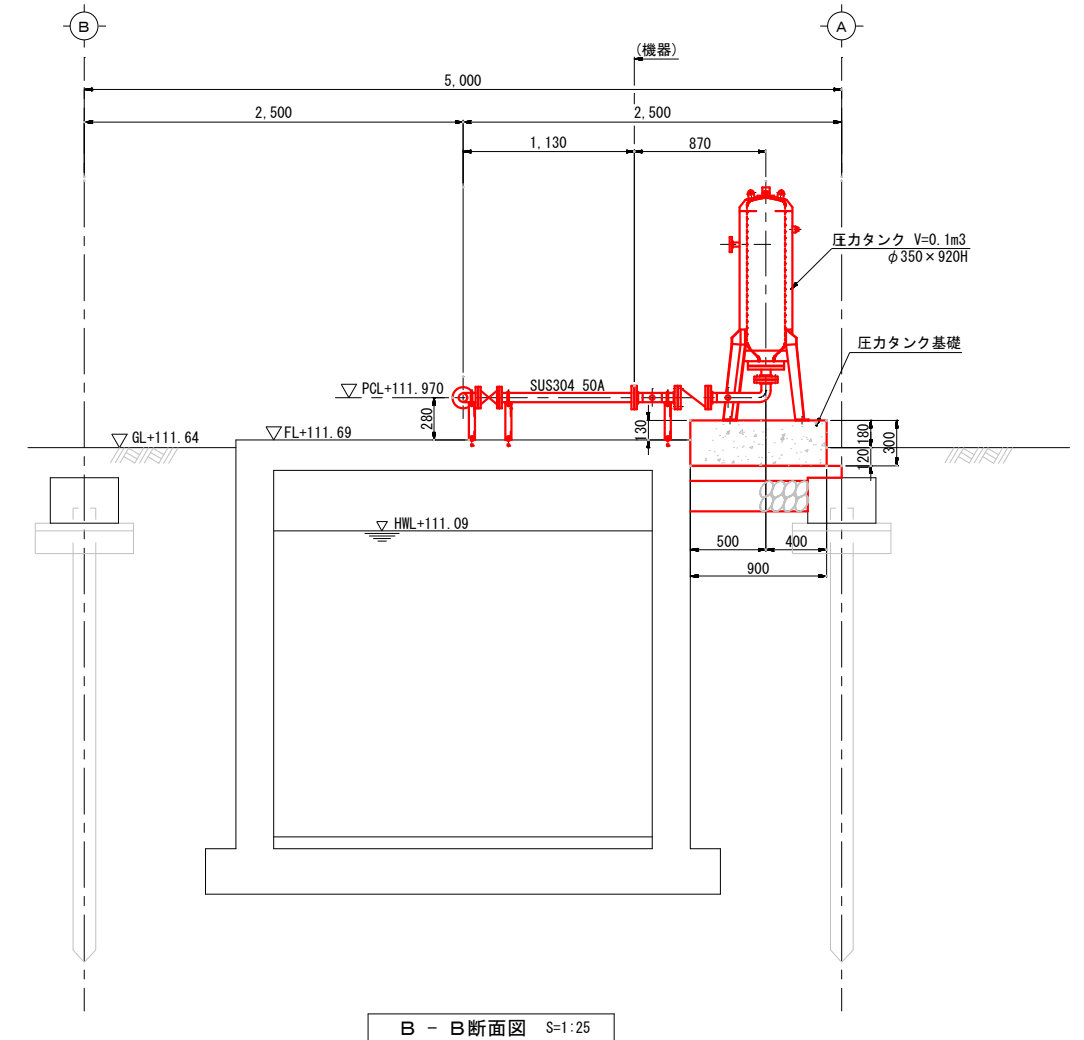
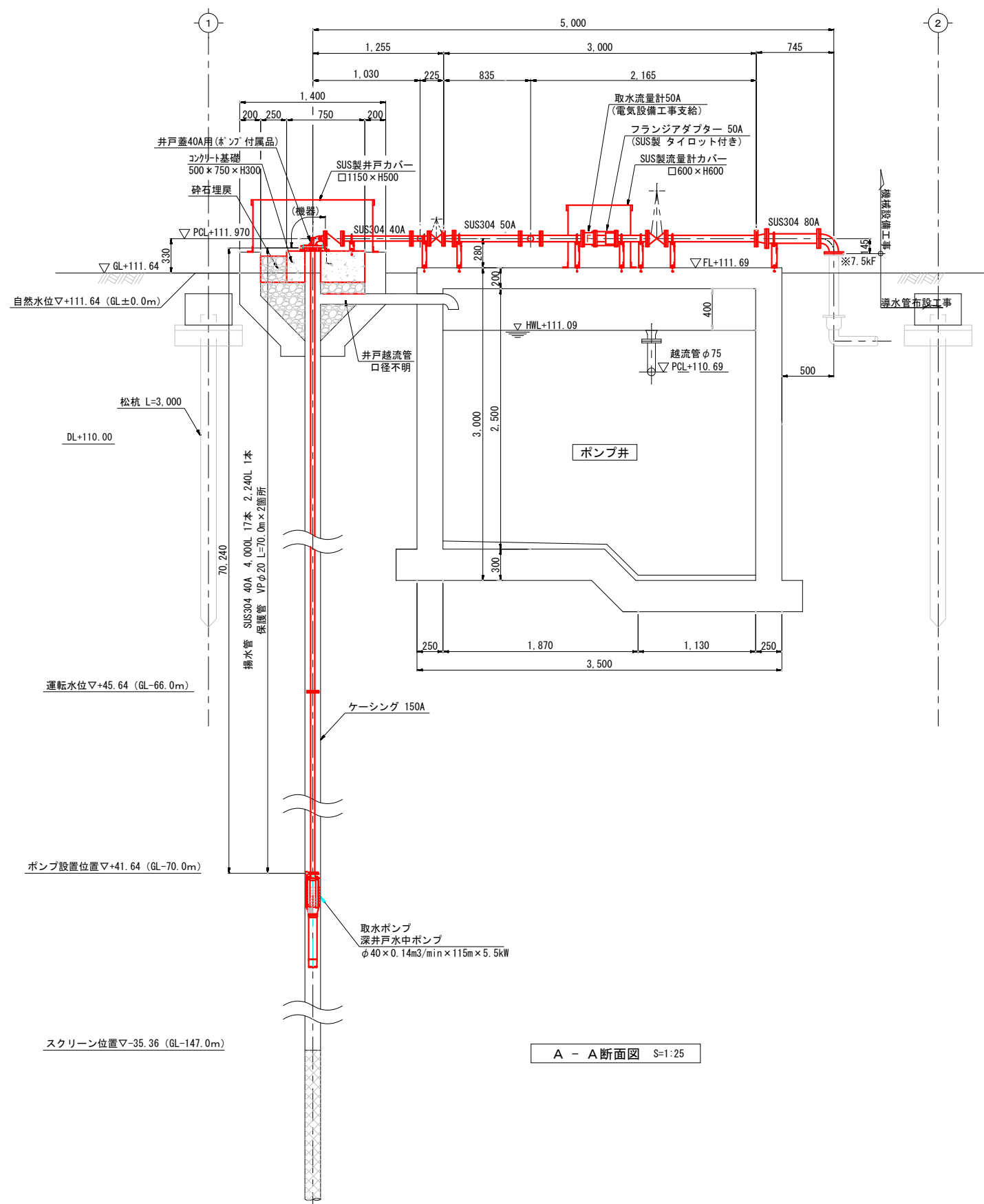


- 注記)
1. 〓 線部は、今回更新範囲を示す。
  2. フランジはJIS10Kとする。ただし、土木工事との取り合い部のみJWWA7.5Kとする。
  3. SUS管は全てSUS304 2ch20sとする。
  4. SUS管露出部は保温工を施すこと。ただし、排水管40Aの2次切弁2次側は不要。
  5. 配管・弁類の機器付属品範囲は各機器通り詳細図を参照のこと。(全16の7・8)
  6. 取水流量計の材料・結核・試運転電気設備工事、設置は機械設備工事とする。
  7. 機器配管・配管寸法は参考とする。

工 事 名	北部清掃工場新排水ポンプ所（仮称）新築ほか 1 箇所機械設備工事		
事業 名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市大迫町 1 1 9 0 〇 番地ほか		
図面種類	横井古別府水源地 機械設備更新図（1） S=1:25（A3版S=1:50）		
図面番号	全 16 の 6	作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環課 北部清掃工場			



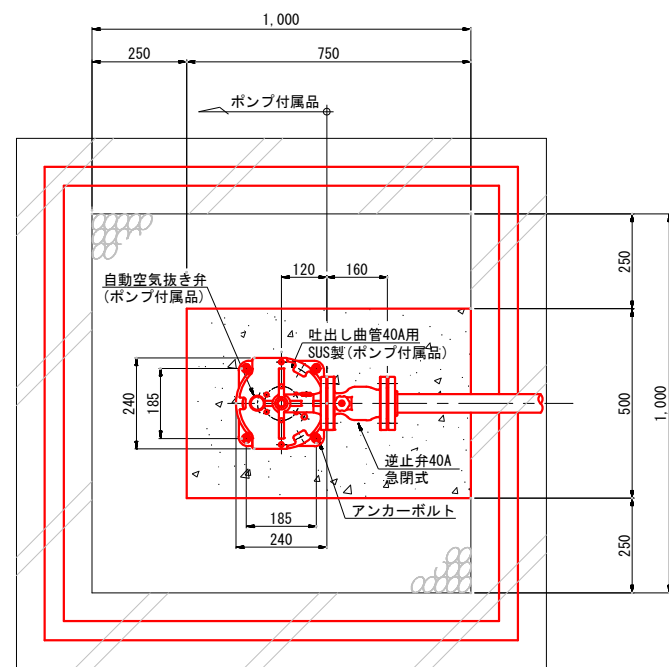
## 横井古別府水源地 機械設備更新図（２）



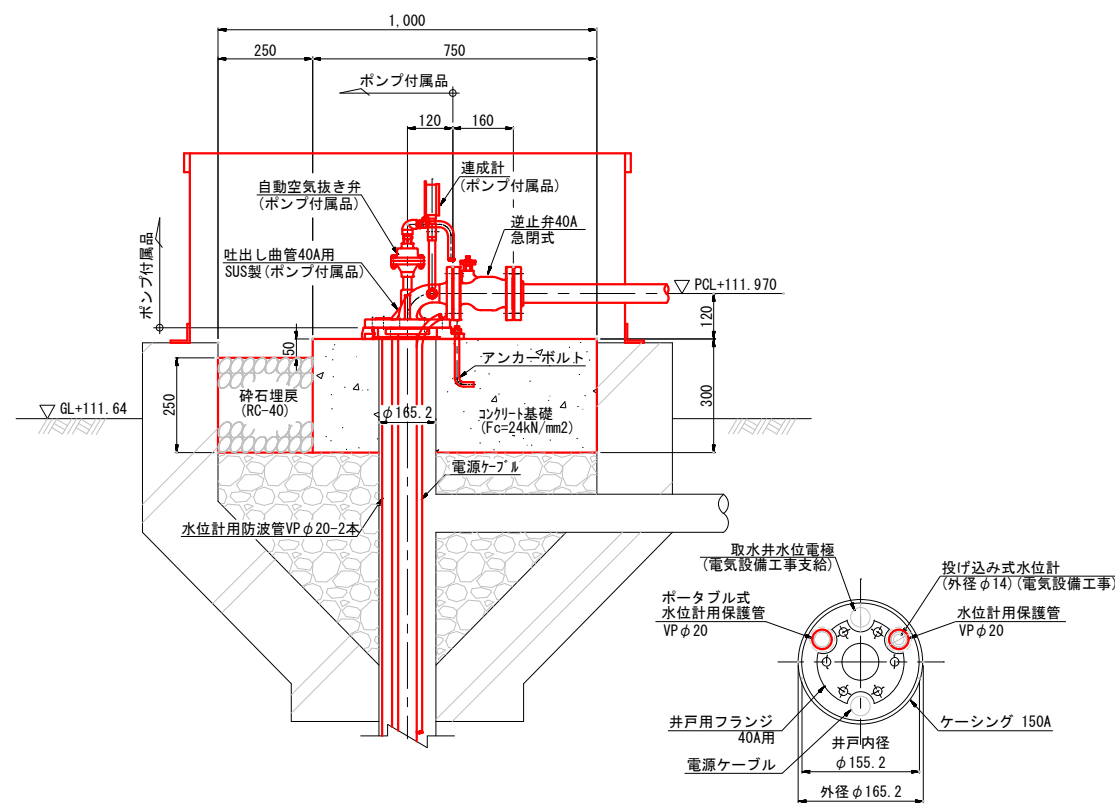
- (注記)
1. ———— 線部は、今回更新範囲を示す。
  2. フランジはJIS10Kとする。ただし、土木工事との取り合い部のみJWWA7.5Kとする。
  3. SUS管が全てSUS304 Ssch20sとする。
  4. SUS管露出部分は保温工を施すこと。ただし、排水管40Aの仕切弁2次側は不要。
  5. 取水量計計の材料・結核・試運転は電気設備工事、設置は機械設備工事とする。
  6. 機器配置、配管寸法は参考とする。

工事名	北部清掃工場新機水ポンプ所(仮称)新築ほか1箇所機械設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	横井古別府水源池 機械設備更新図(2) S=1:25 (A3版S=1:50)		
図面番号	全 16 の 7	作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環課 北部清掃工場			

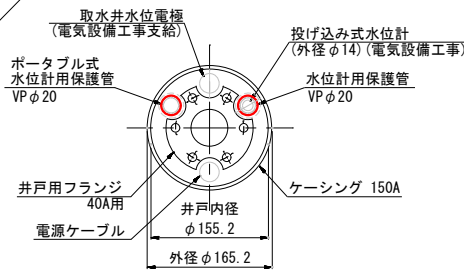
横井古別府水源地 機械設備更新図（3）



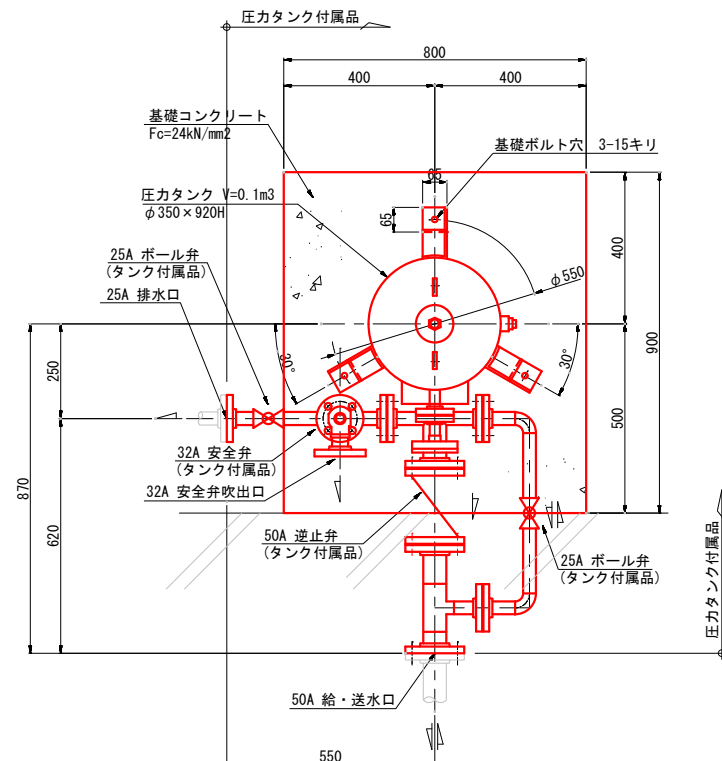
井戸廻り詳細平面図 S=1:10



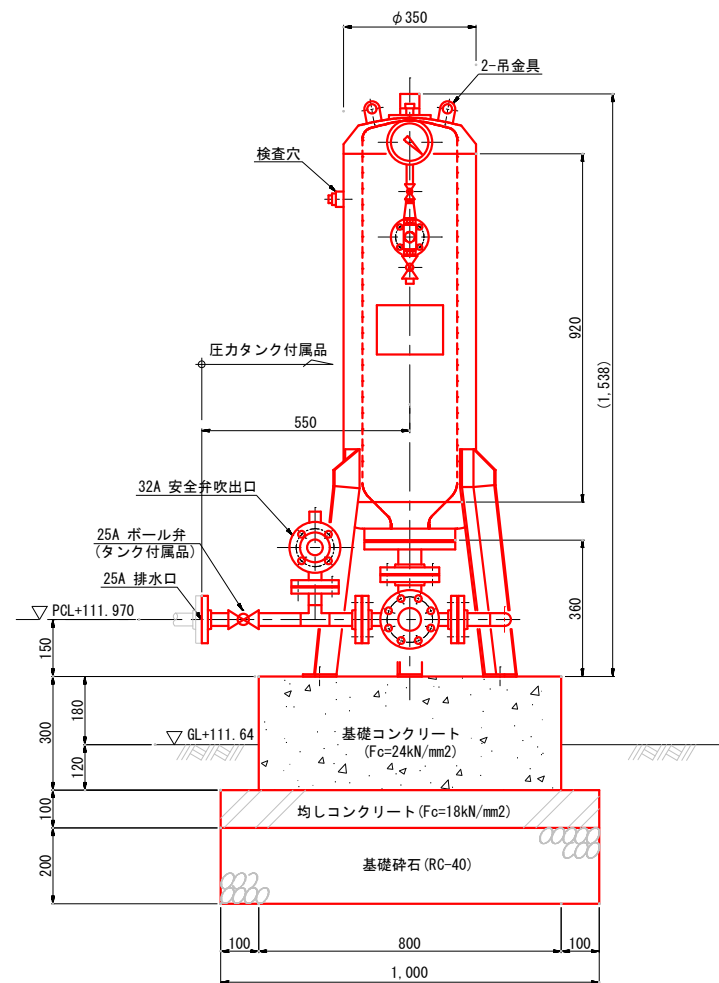
井戸廻り詳細断面図 S=1:10



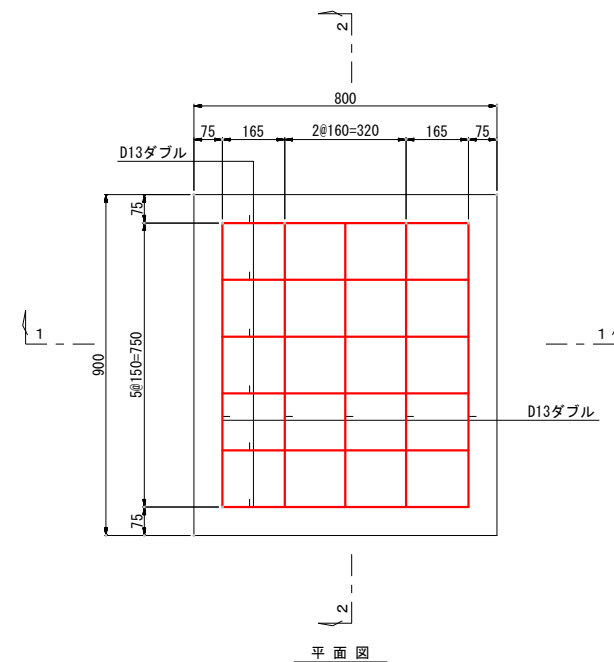
井戸フランジ詳細図 S=1:5



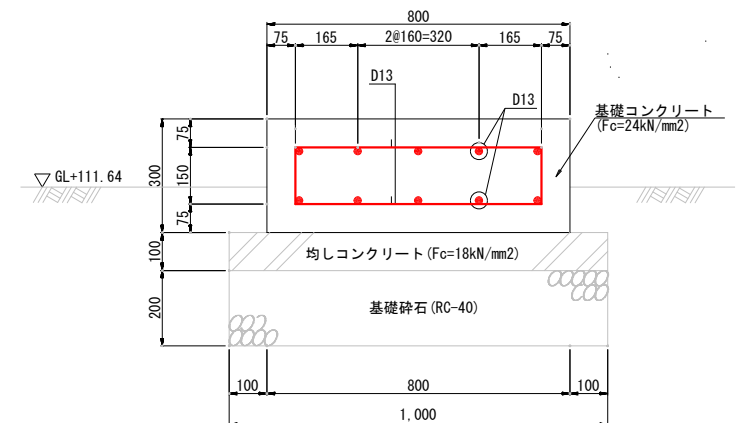
圧力タンク詳細平面図 S=1:10



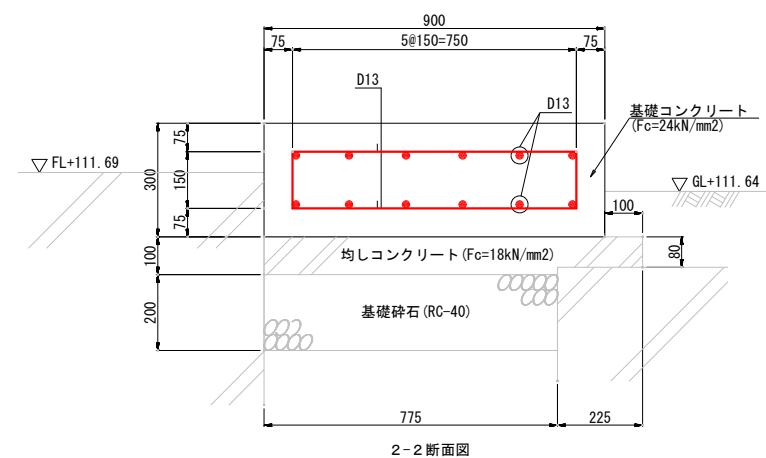
圧力タンク詳細断面図 S=1:10



平面図



1-1 断面図



2-2 断面図

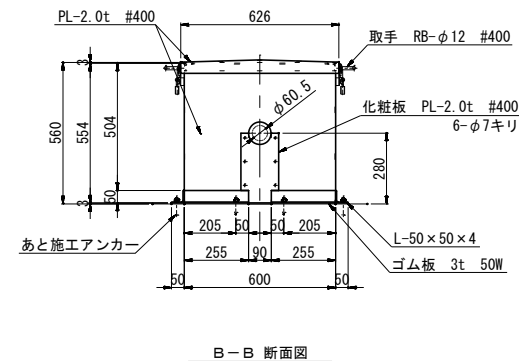
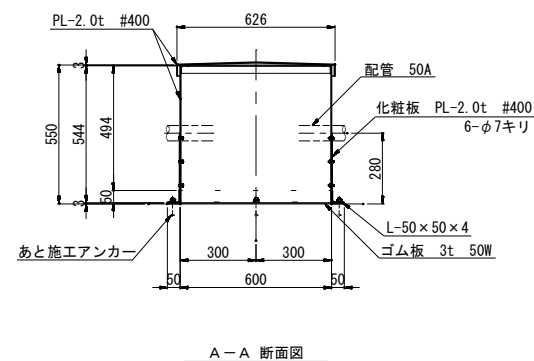
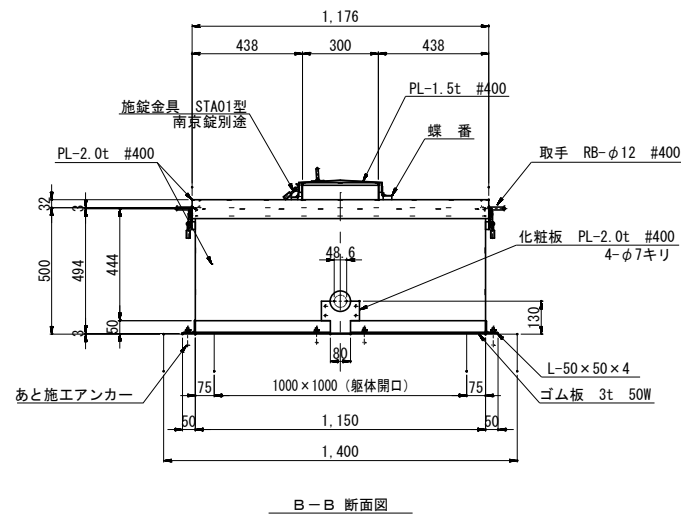
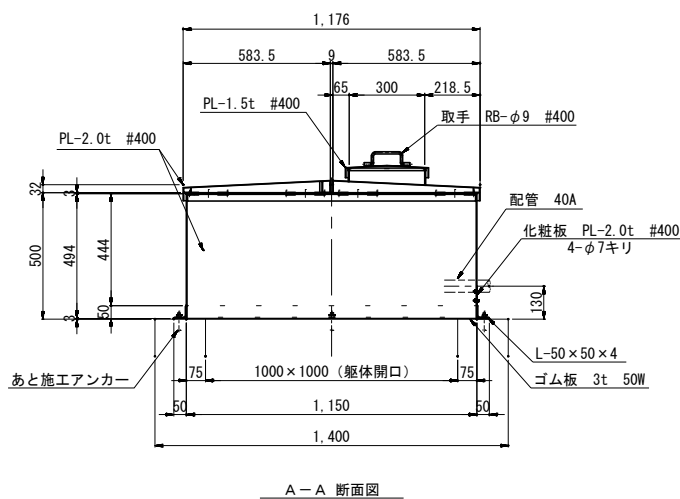
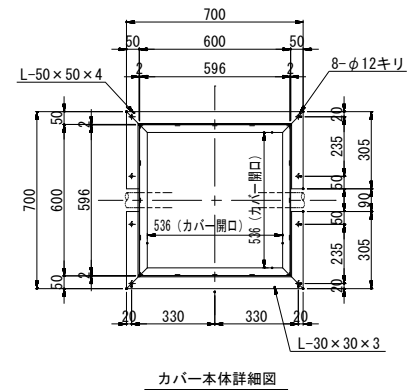
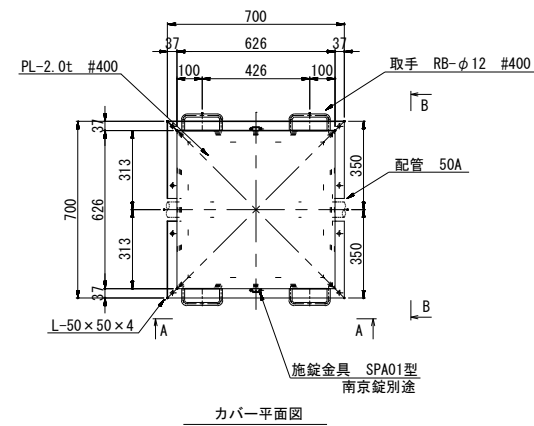
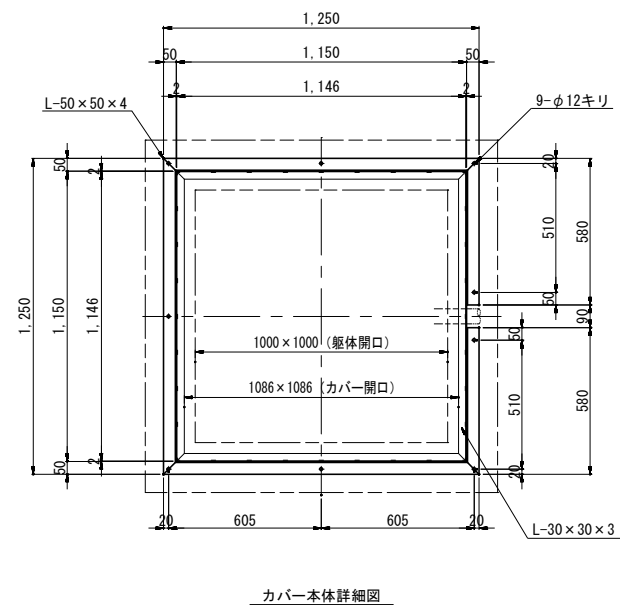
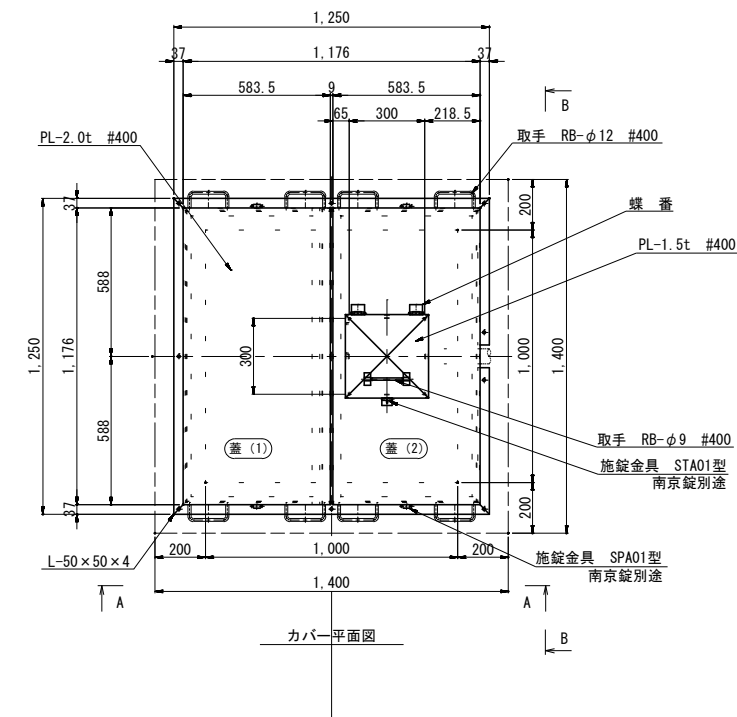
基礎コンクリート配筋図 S=1:10

- 注記)
- 線部は、今回更新範囲を示す。
  - 水位計は電気設備工事とする。
  - 水中電極の材料は電気設備工事、設置は機械設備工事とする。
  - 機器配置・配管寸法・基礎図寸法は参考とする。

工事名	北部清掃工場新排水ポンプ所(仮称)新築ほか1箇所機械設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	横井古別府水源地 機械設備更新図(3) S=1:10 (A3版S=1:20)		
図面番号	全 16 の 8	作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場			



横井古別府水源地 SUS製カバー詳細図  
(参 考 図)



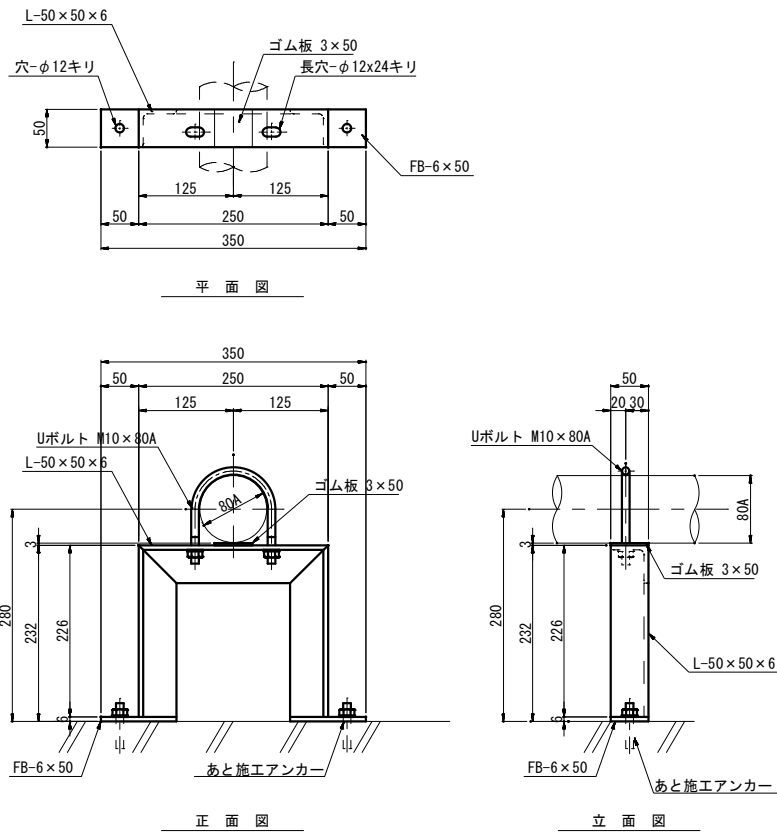
SUS製井戸カバー詳細図 S=1:15  
※使用鋼材は、全てSUS304とする。

SUS製流量計カバー詳細図 S=1:15  
※使用鋼材は、全てSUS304とする。

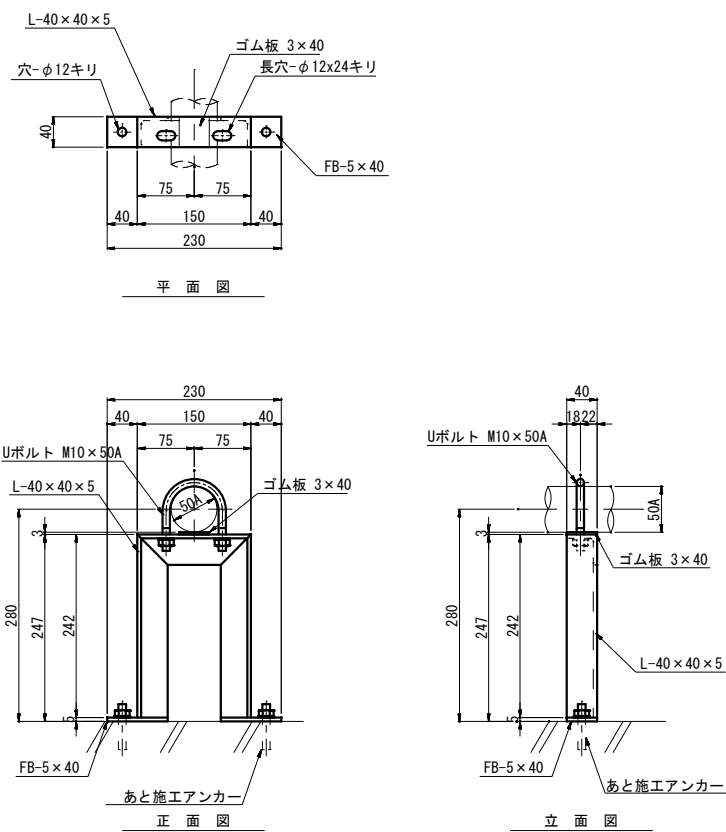
注記)  
1. 図面寸法は参考とする。

工事名	北部清掃工場新場水ポンプ所(仮称)新築ほか1箇所機械設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	横井古別府水源地 SUS製カバー詳細図(参考図) S=1:15 (A3版S=1:30)		
図面番号	全 16 の 9	作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場			

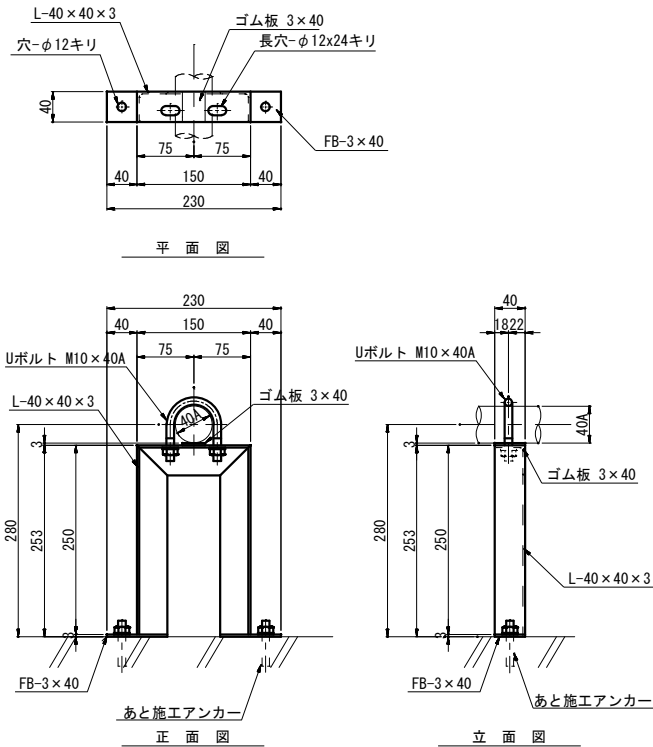
横井古別府水源地 支持金具詳細図  
(参考図)



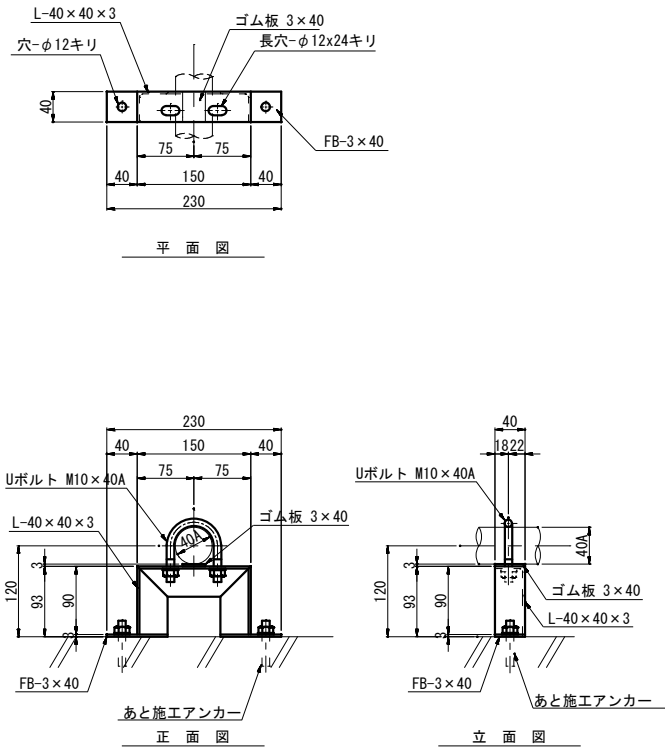
支持金具80A×280H用 詳細図(参考図) S=1:5



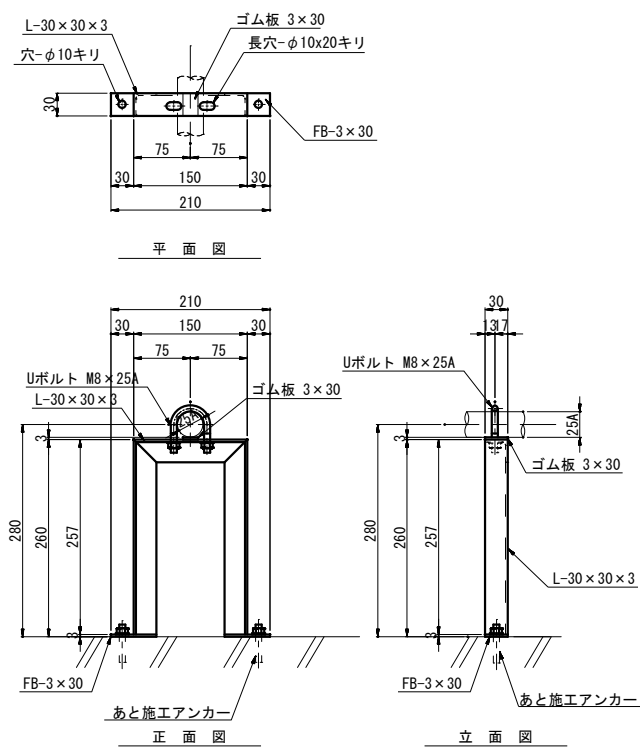
支持金具50A×280H用 詳細図(参考図) S=1:5



支持金具40A×280H用 詳細図(参考図) S=1:5



支持金具40A×120H用 詳細図(参考図) S=1:5

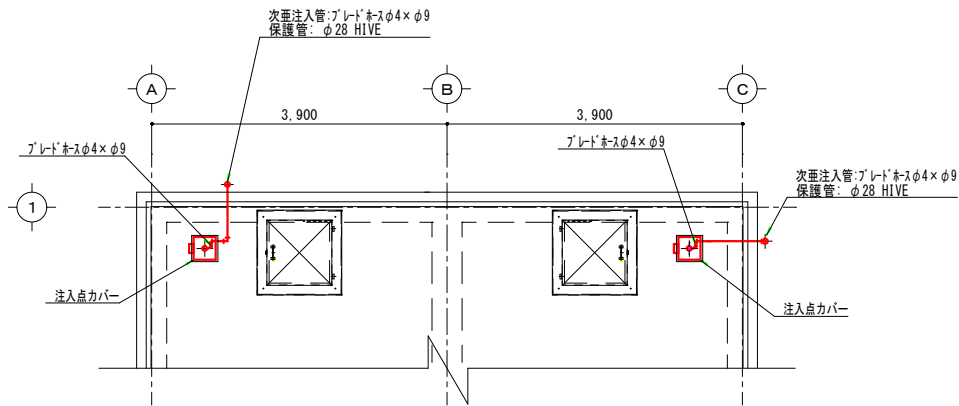


支持金具25A×280H用 詳細図(参考図) S=1:5

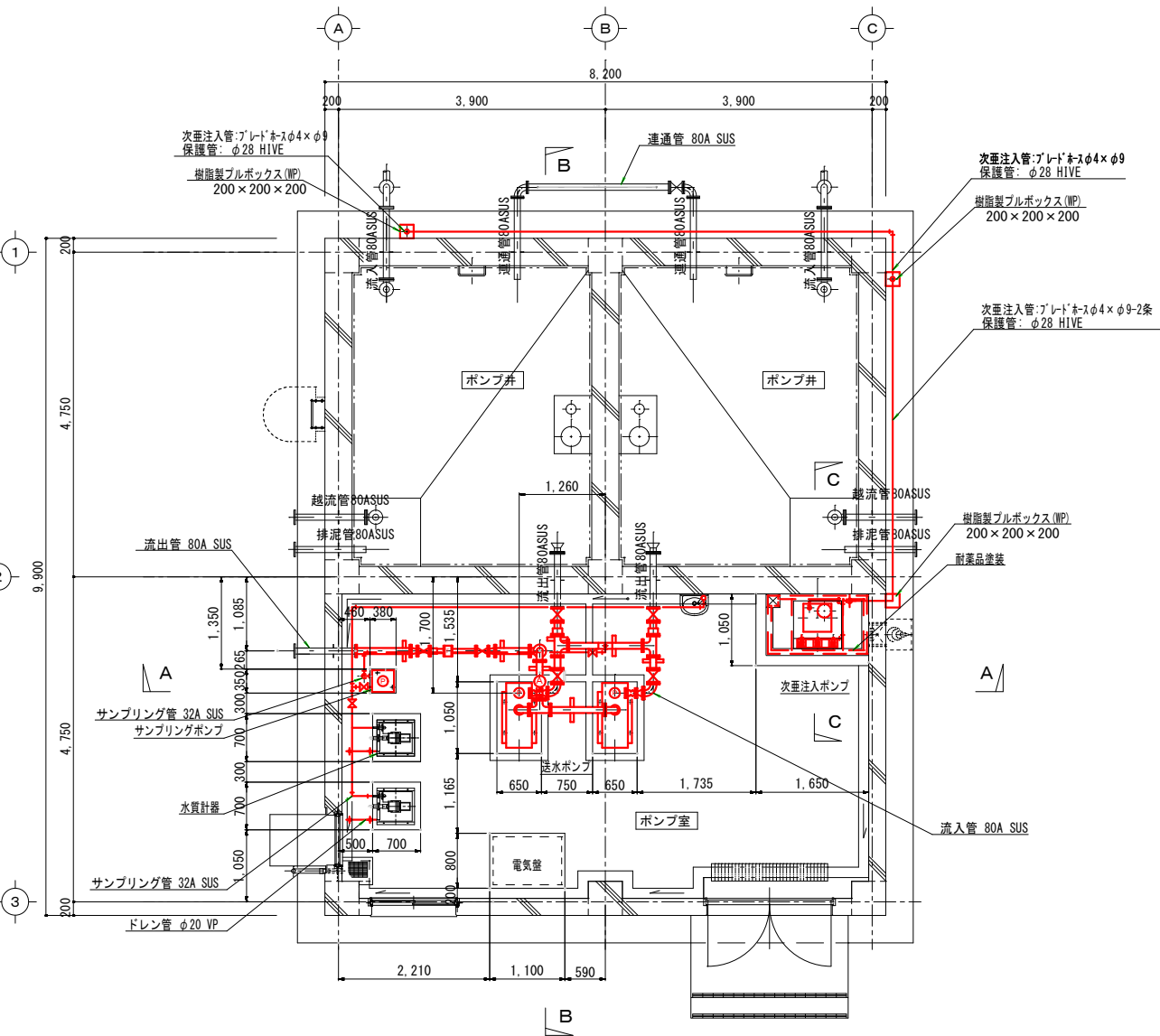
注記)  
1. 図面寸法は参考とする。

工事名	北部清掃工場新排水ポンプ所(仮称)新築ほか1箇所機械設備工事
事業名	北部清掃工場施設整備事業
工事場所	鹿児島市大迫町11900番地ほか
図面種類	横井古別府水源地 支持金具詳細図(参考図) S=1:5 (A3版S=1:10)
図面番号	全 16 の 10 作成年月 令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場	

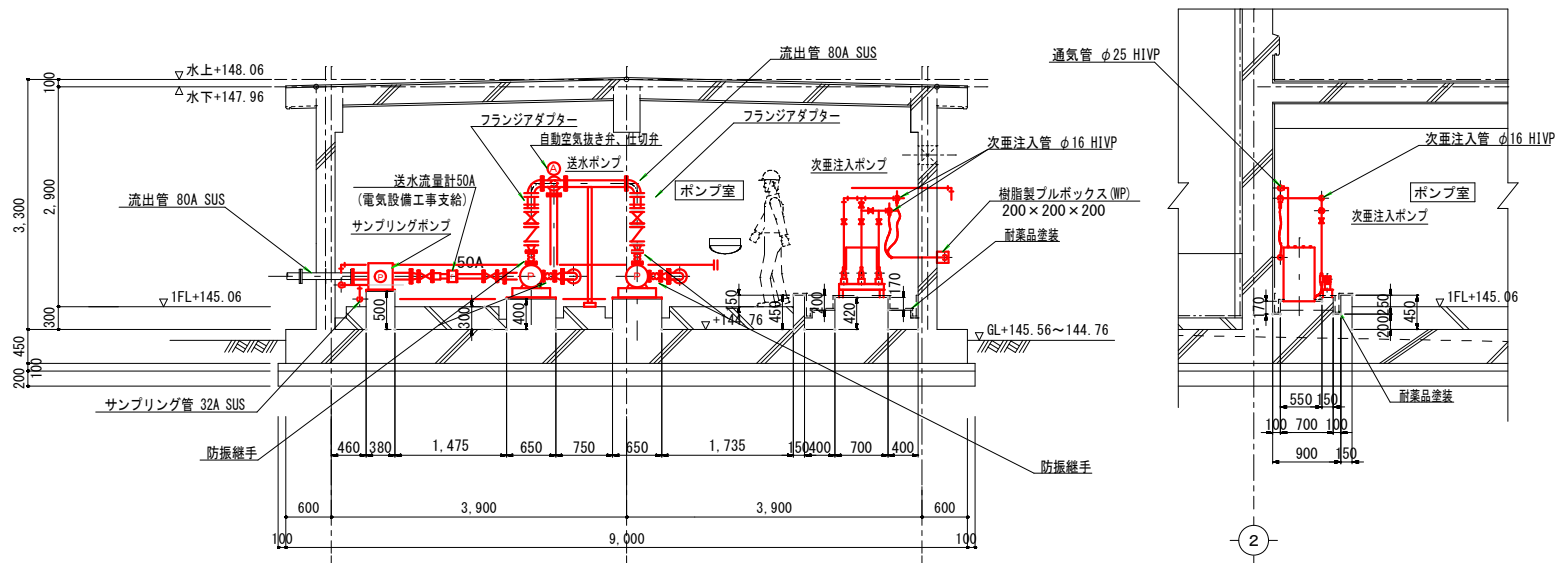
新揚水ポンプ所 ポンプ室機器配置図



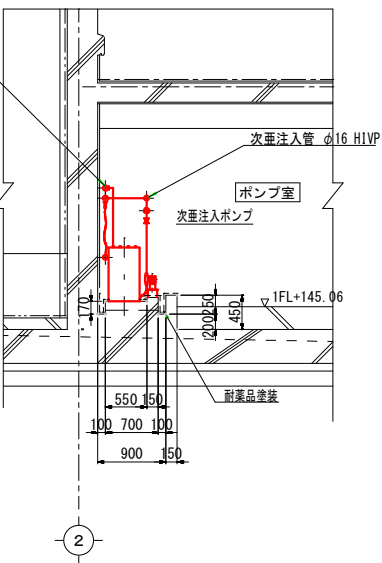
屋根伏図 S=1/50



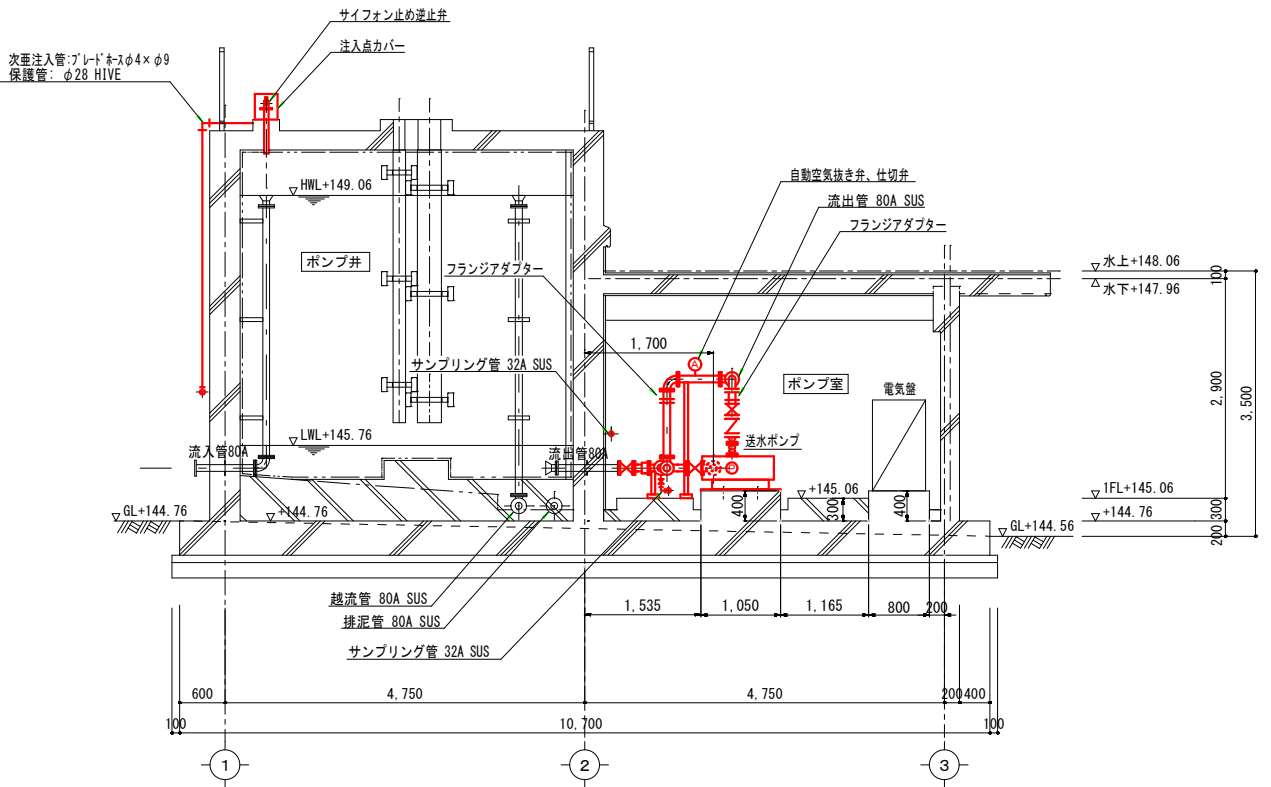
1階 平面図 S=1/50



A-A断面図 S=1/50



C-C断面図 S=1/50

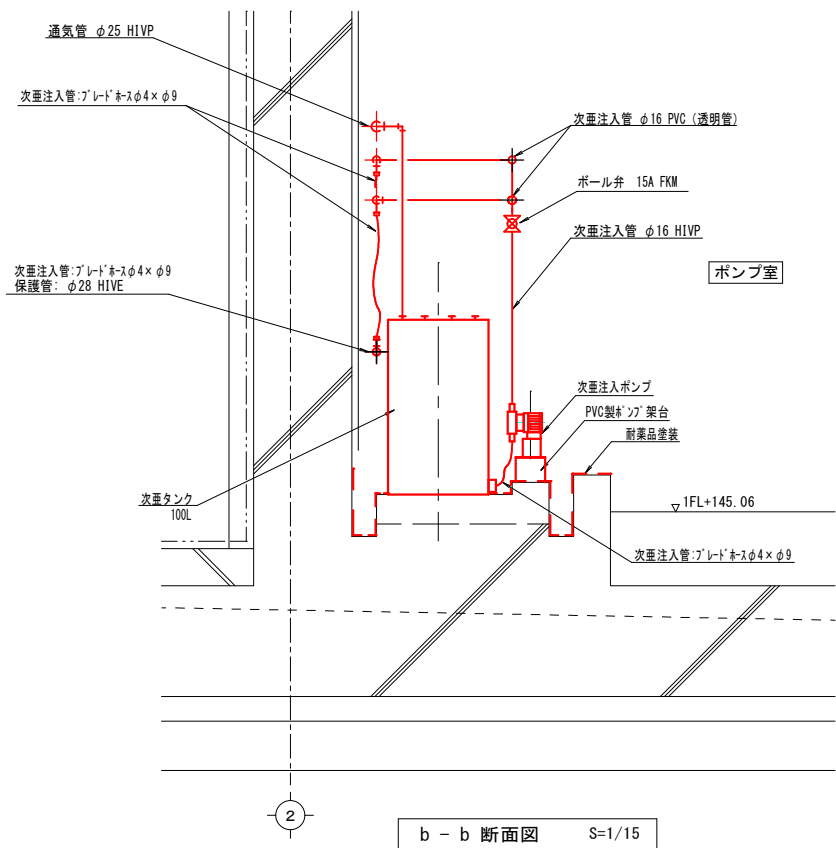
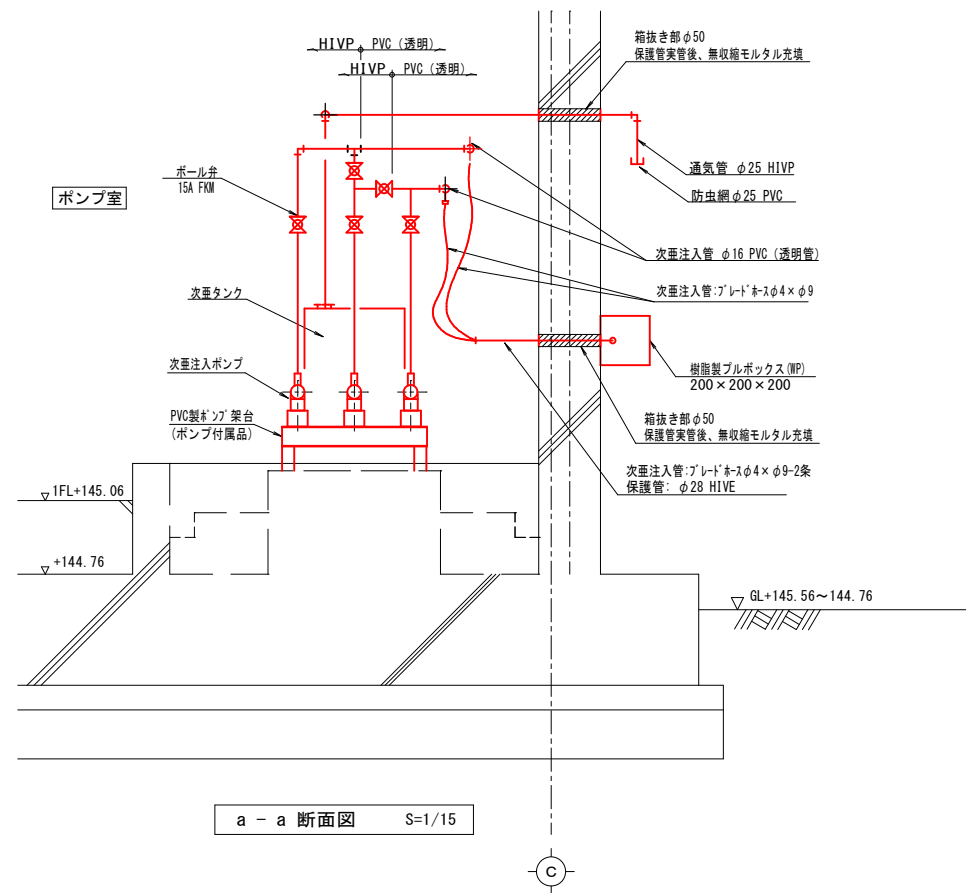
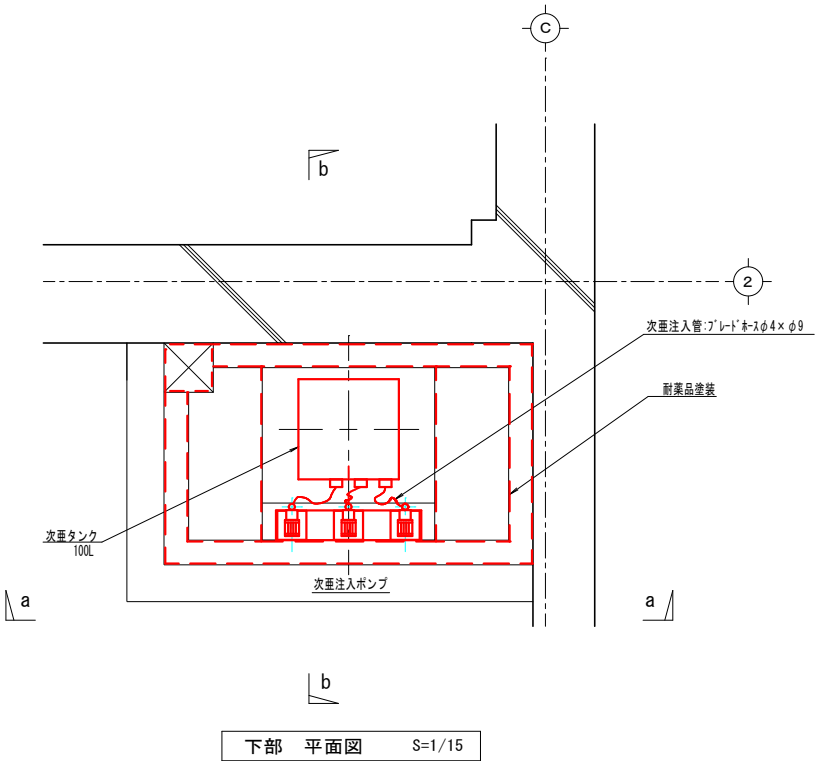
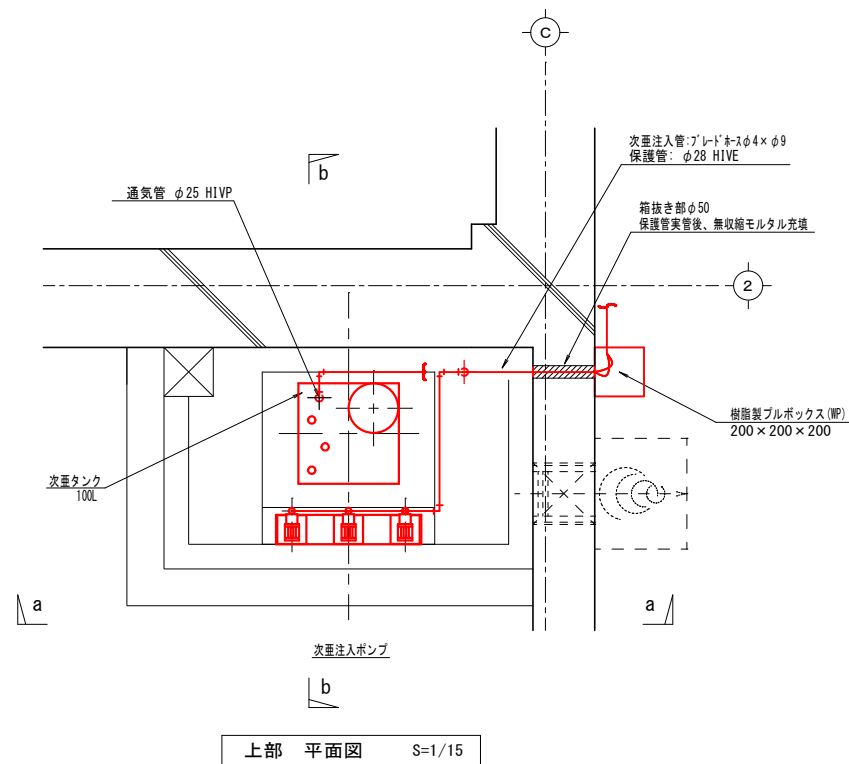


B-B断面図 S=1/50

- 注記)
- 線部は、本工事範囲を示す。
  - SUS管は全てSUS304 Sch20とする。
  - SUS管露出部は、保温工を施すこと。
  - 送水流量計の材料・結線・試運転は電気設備工事、設置は機械設備工事とする。
  - 図面寸法は参考とする。

工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所(仮称)新築ほか1箇所機械設備工事
事業名	北部清掃工場施設整備事業
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか
図面種類	新揚水ポンプ所 ポンプ室機器配置図
図面番号	全 16 の 11
作成年月	令和 7年 3月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場	

新揚水ポンプ所 次亜注入設備詳細図

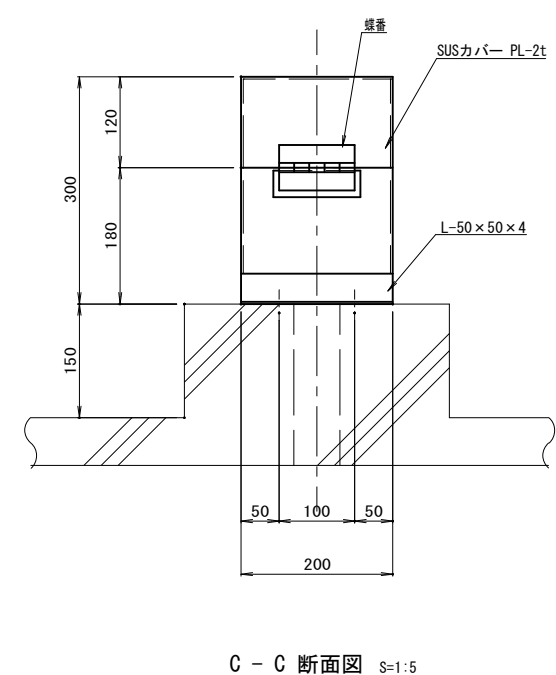
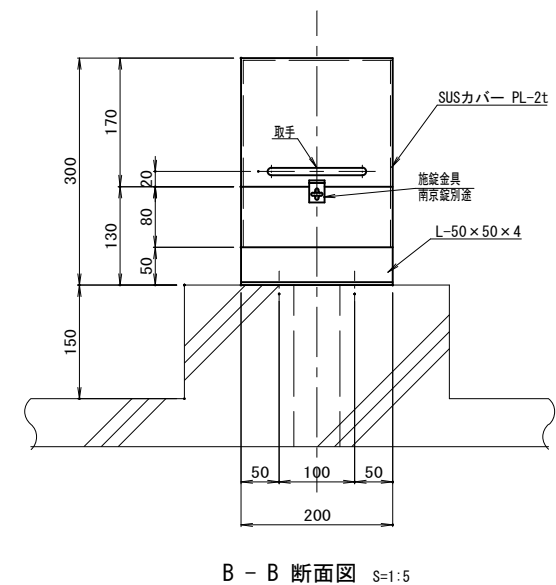
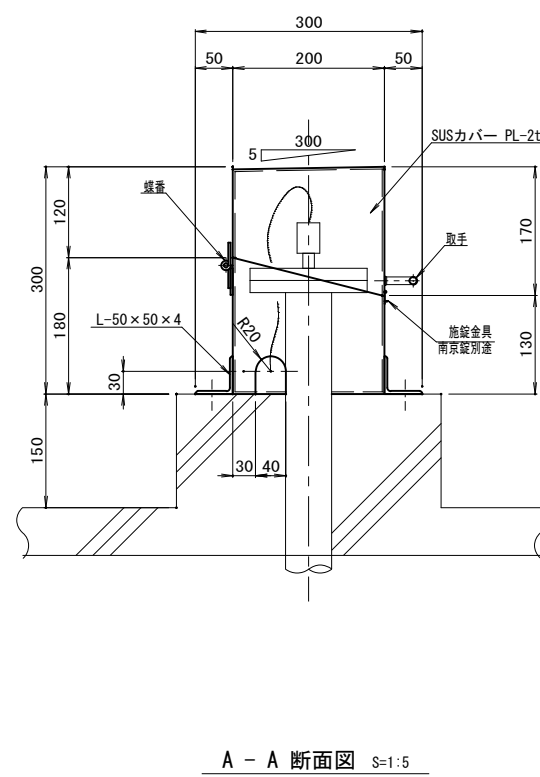
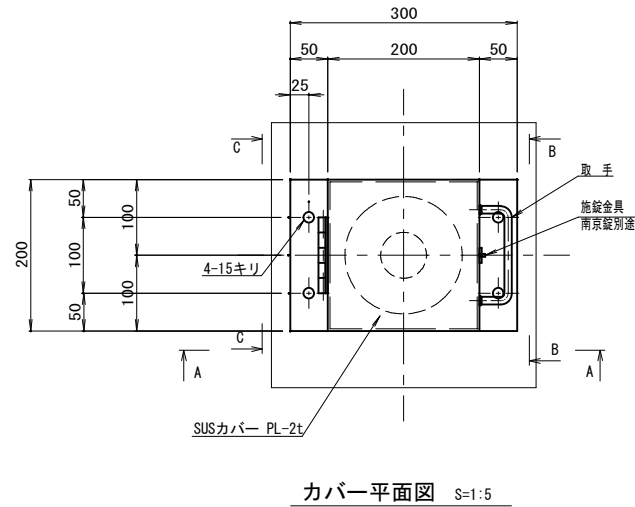
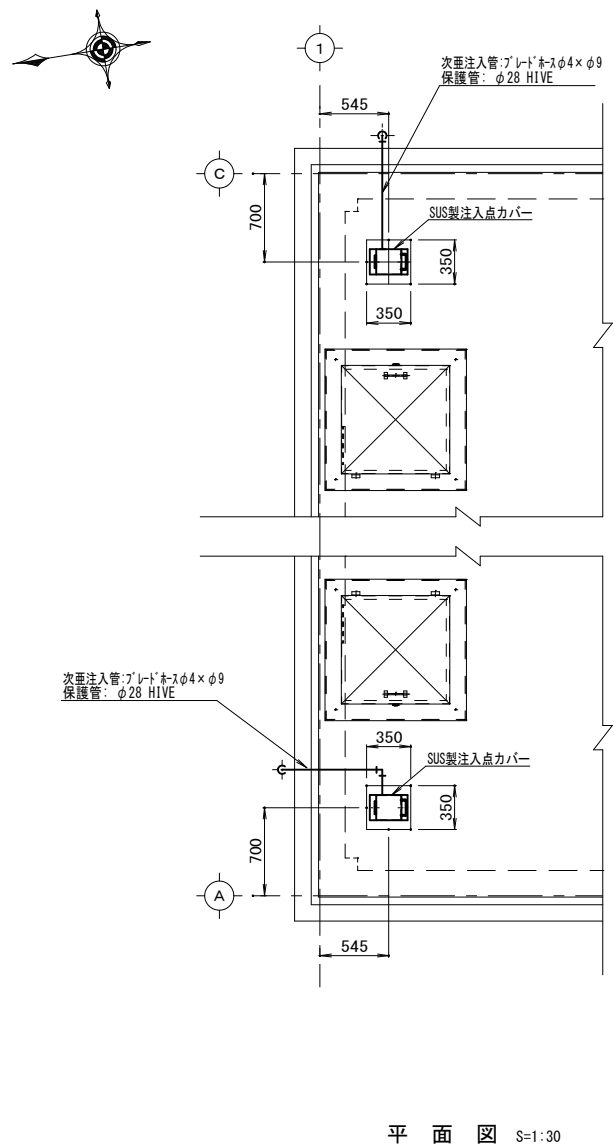


注記)  
1. 線部は、本工事範囲を示す。  
2. 図面寸法は参考とする。

工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所（仮称）新築ほか1箇所機械設備工事
事業名	北部清掃工場施設整備事業
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか
図面種類	新揚水ポンプ所 次亜注入設備詳細図 S=1/15（A3版S=1/30）
図面番号	全16の12 作成年月 令和7年3月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場	



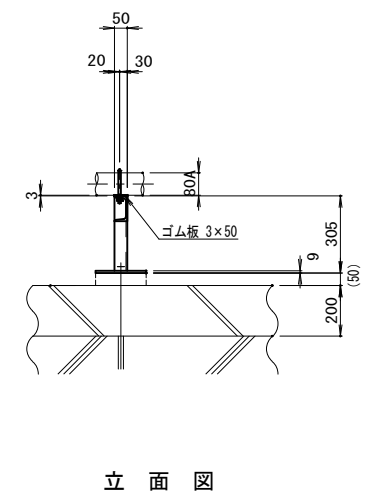
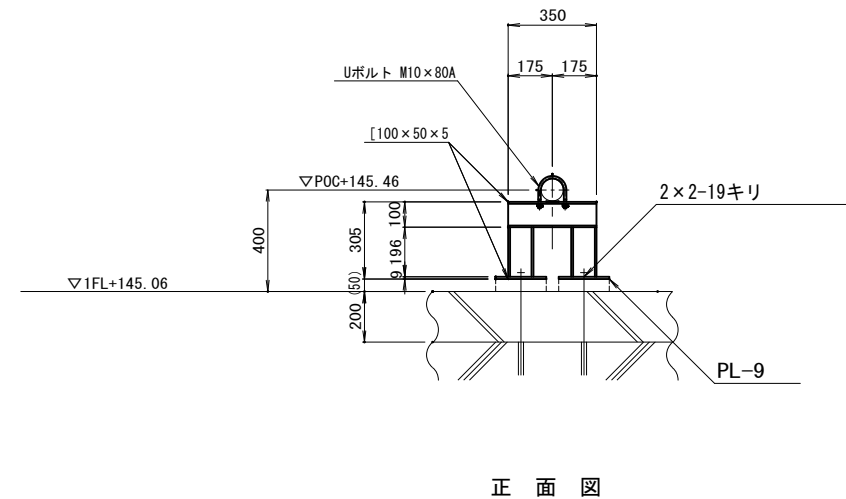
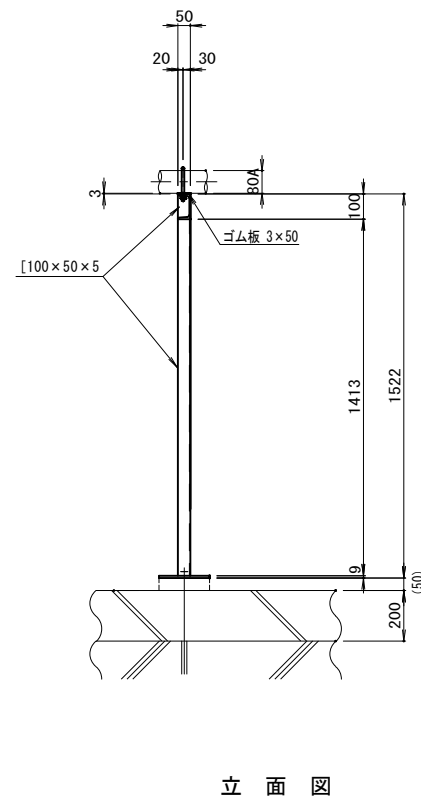
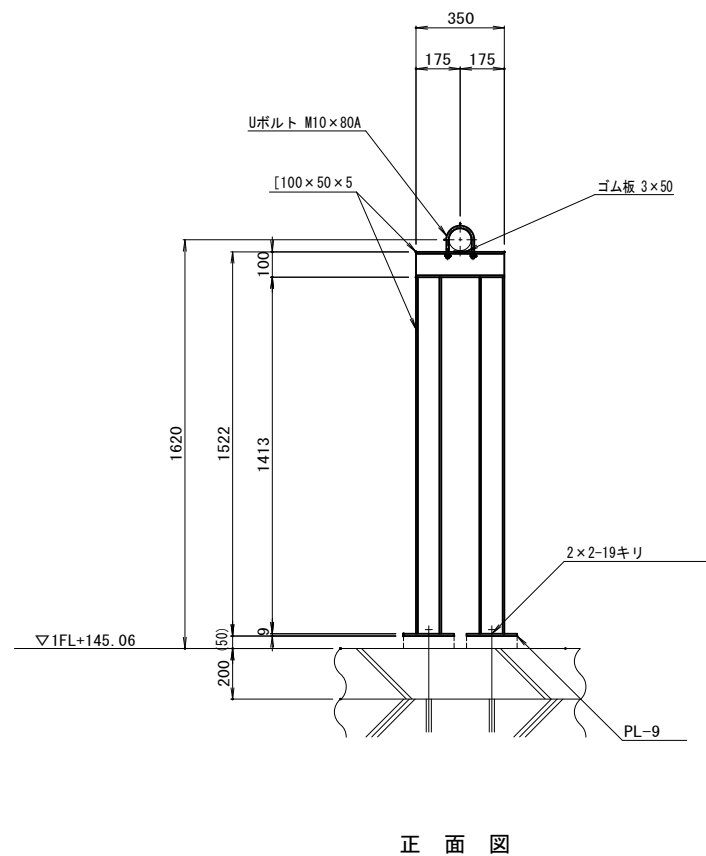
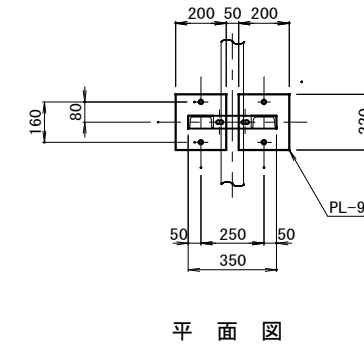
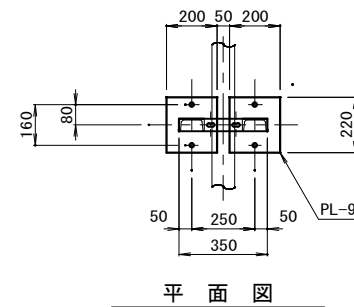
新揚水ポンプ所 注入点カバー詳細図  
(参 考 図)



注記)  
1. 図面寸法は参考とする。  
2. 使用鋼材は、全てSUS304とする。

工事名	北部清掃工場新揚水ポンプ所(仮称)新築ほか1箇所機械設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	新揚水ポンプ所 注入点カバー詳細図(参考図)	S=1:5 (A3版S=1:10)	
図面番号	全 16 の 13	作成年月	令和 7年 3月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場			
株式会社NJS TEL092-281-9052			

新揚水ポンプ所 配管サポート詳細図  
(参 考 図)



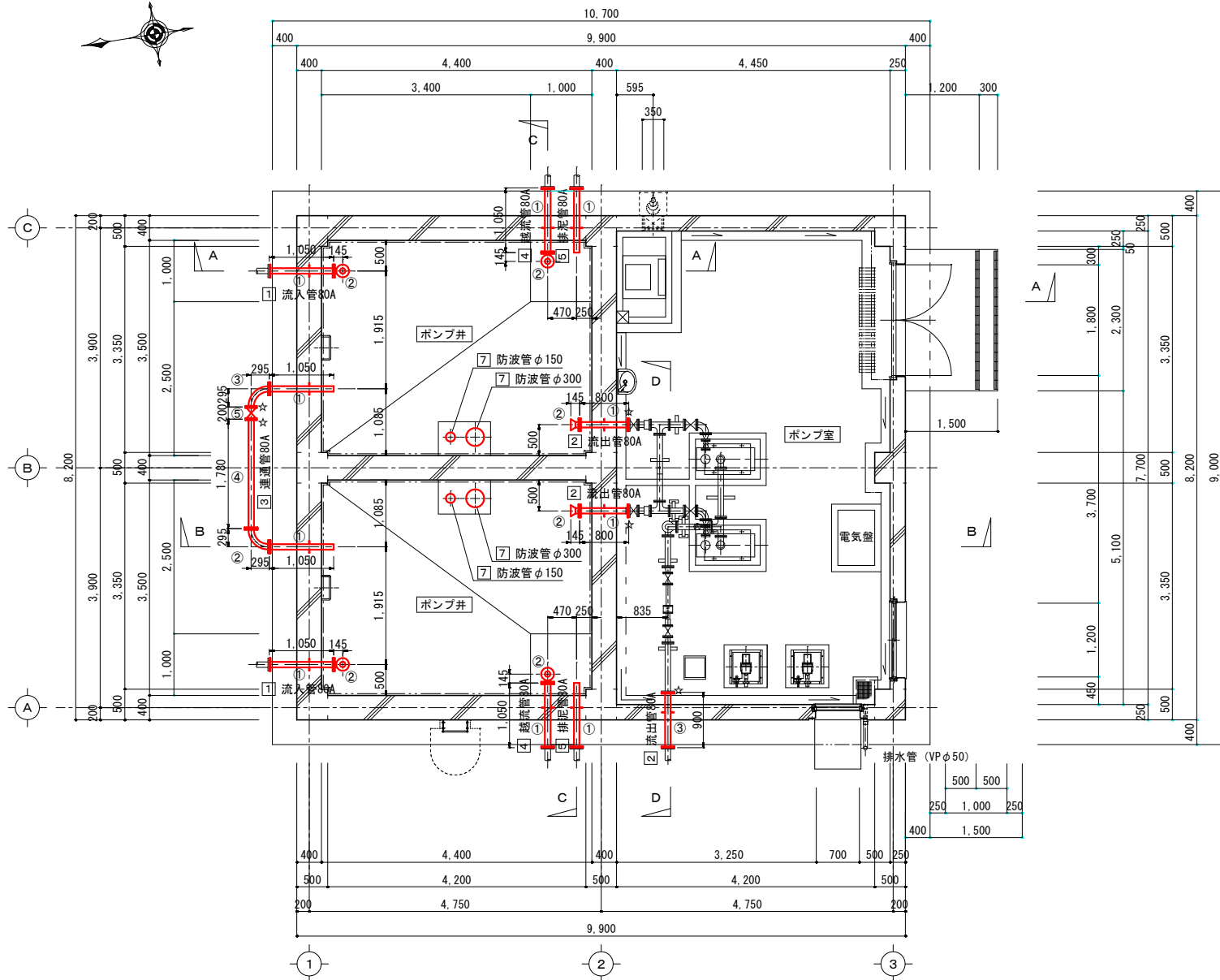
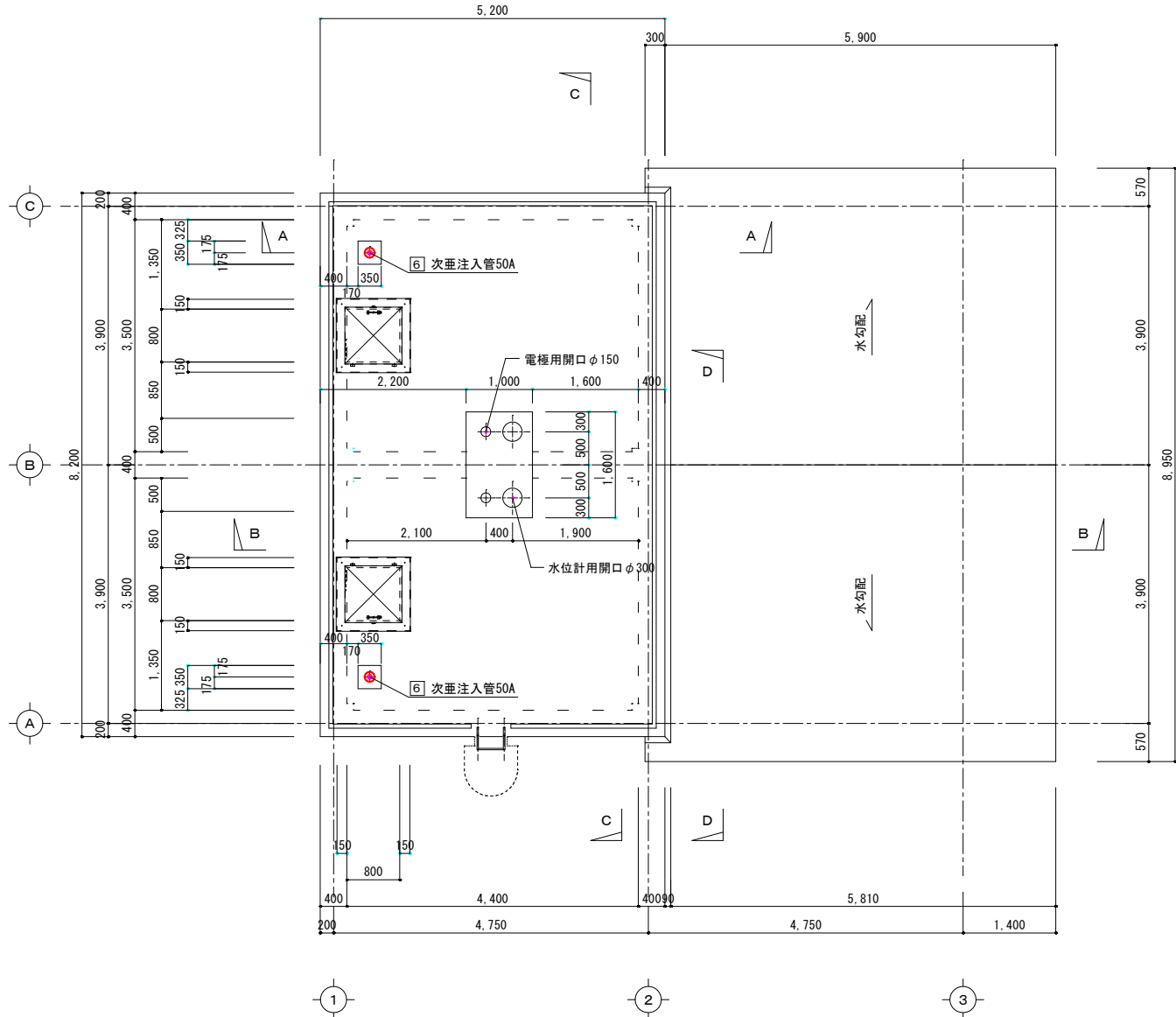
支持金具80A×1620H用 詳細図(参考図) S=1:15

支持金具80A×400H用 詳細図(参考図) S=1:15

注記)  
1. 図面寸法は参考とする。

工事名	北部清掃工場新排水ポンプ所(仮称)新築ほか1箇所機械設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	新排水ポンプ所 配管サポート詳細図(参考図) S-I-1.1 (A3版S-I-1.30)		
図面番号	全 16 の 14	作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環課 北部清掃工場			

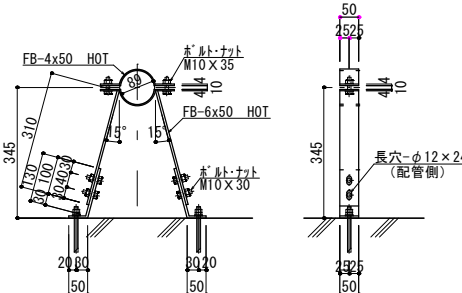
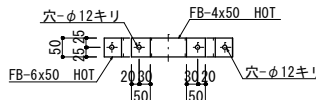
新揚水ポンプ所 ポンプ井付帯配管図 (1)

1 階 平面図  $S=1/5$ 

屋根伏図 S=1:1

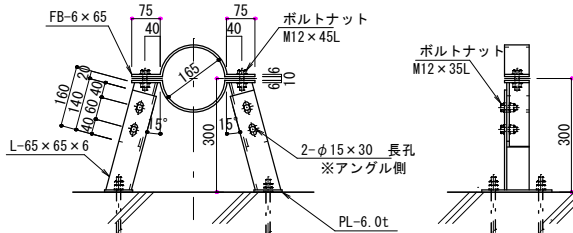
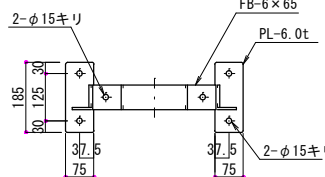
SUS管80A用

(流入管3個×2池 越流管3個×2池 計12個)



VU管φ150用

(防波管3個×2池 計6個)

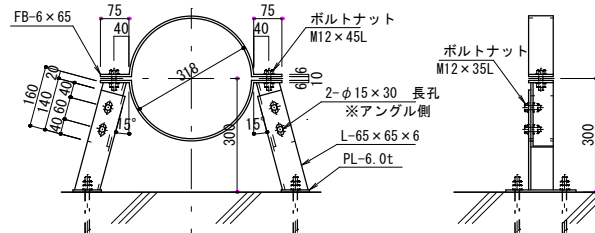
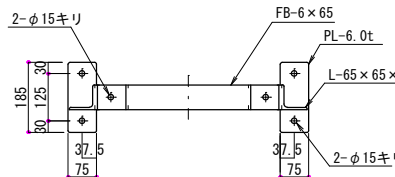


配管支持金具詳細図(参考図) S=1:1

使用鋼材は全てSUS316とする

VU管φ300用

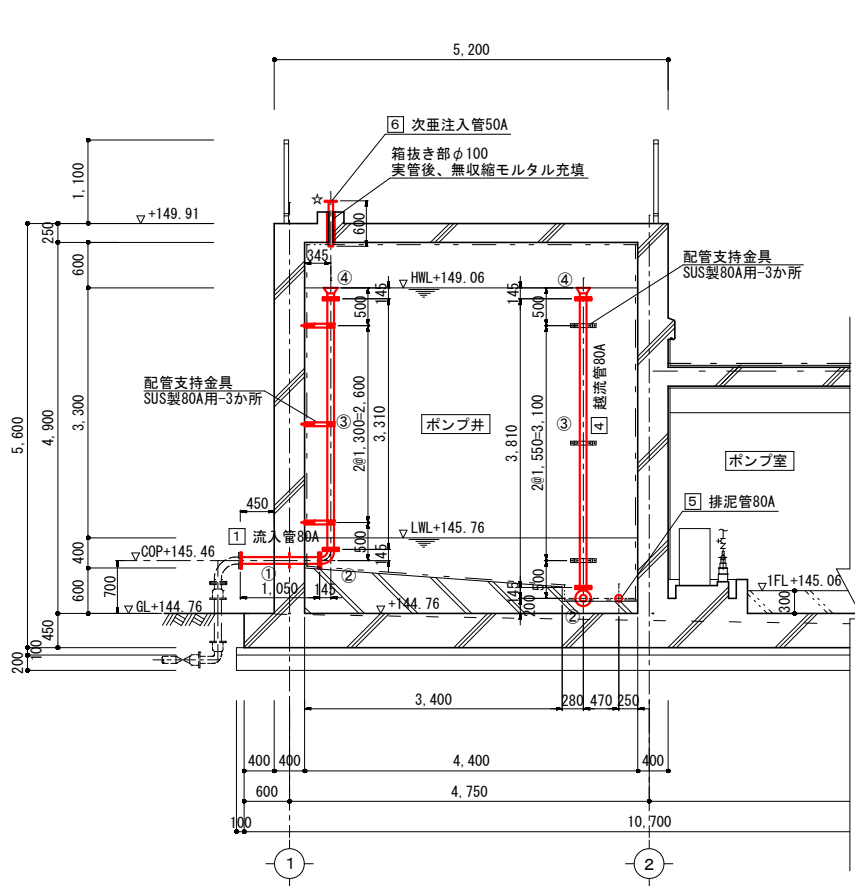
(防波管3個×2池 計6個)



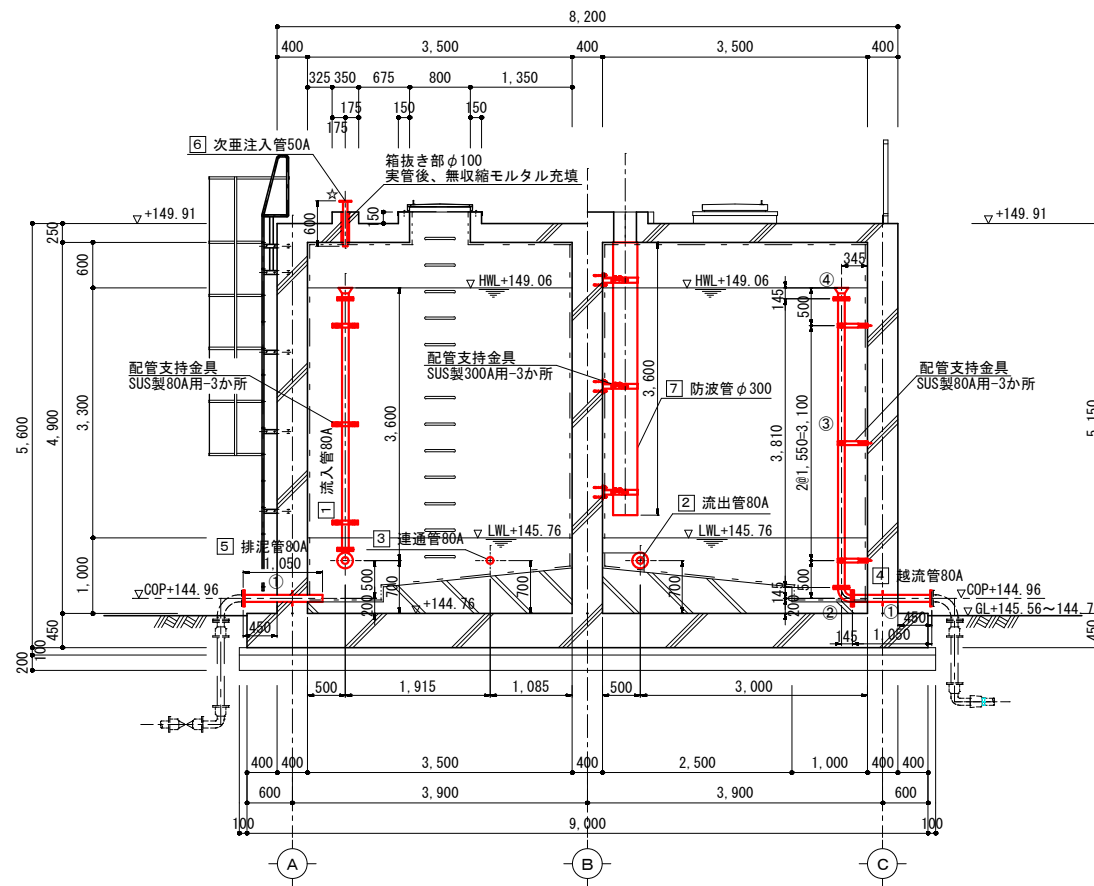
- 注記)
1. 線部は、本工事範囲を示す。
  2. 図面寸法は参考とする。
  3. 躯体貫通部の開口補強は別途工事とする。
  4. 屋外露出部には保温工を施すこと。
  5. ☆印はJIS10KF、無印はJWWA7.5KFとする。

工 事 名	北部清掃工場新排水ポンプ所(仮称)新築ほか 1 箇所機械設備		
事業 名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町 1 1 9 0 0 番地ほか		
図面種類	新排水ポンプ所 ポンプ井付帯配管図 (1) S=150、100 (A3版)S=150、100、		
図面番号	全 16 の 15	作成 年 月 令	7 年 3
鹿児島市 環境局 資源循環課 北部清掃工場			

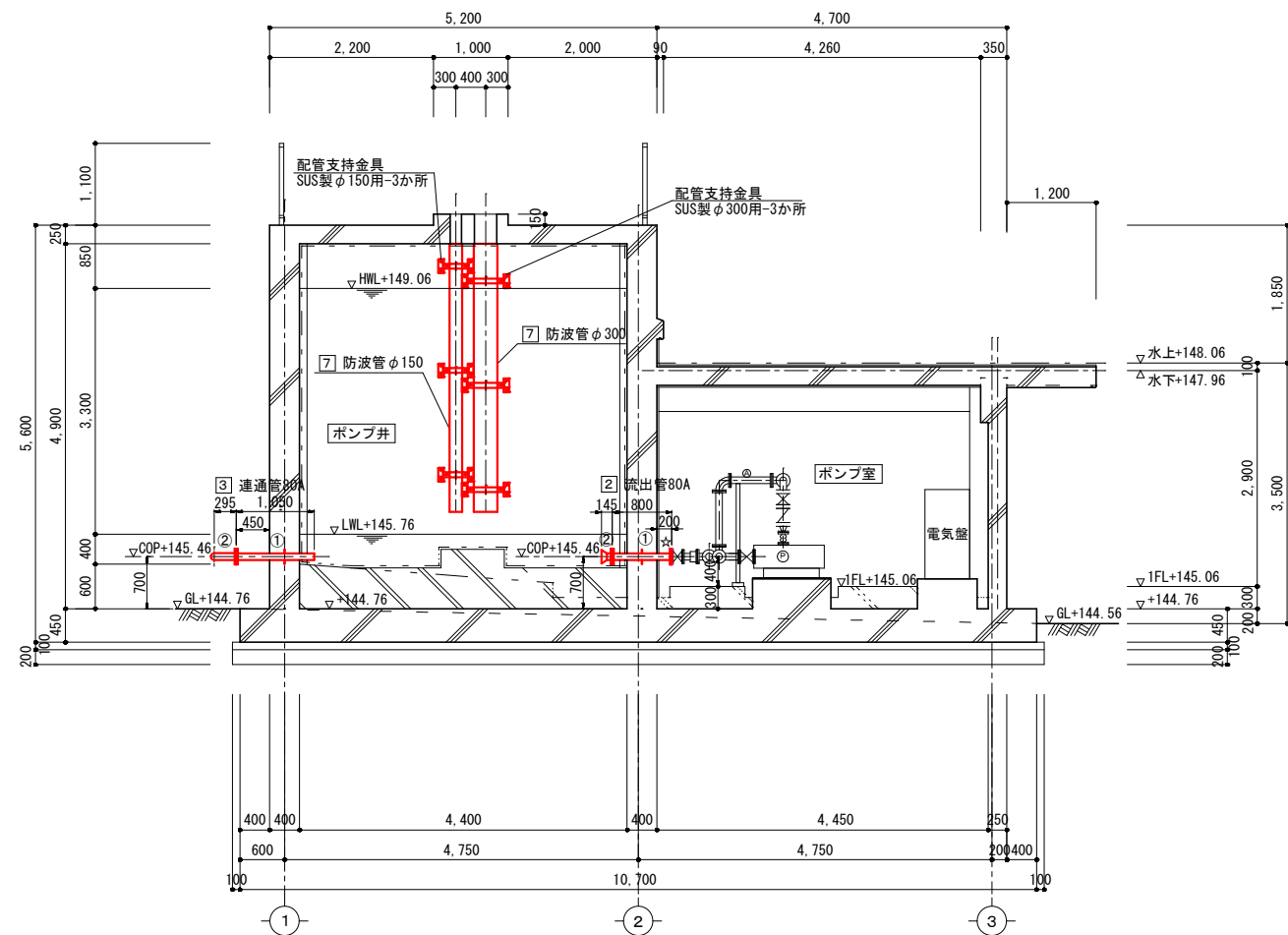
新揚水ポンプ所 ポンプ井付帯配管図 (2)



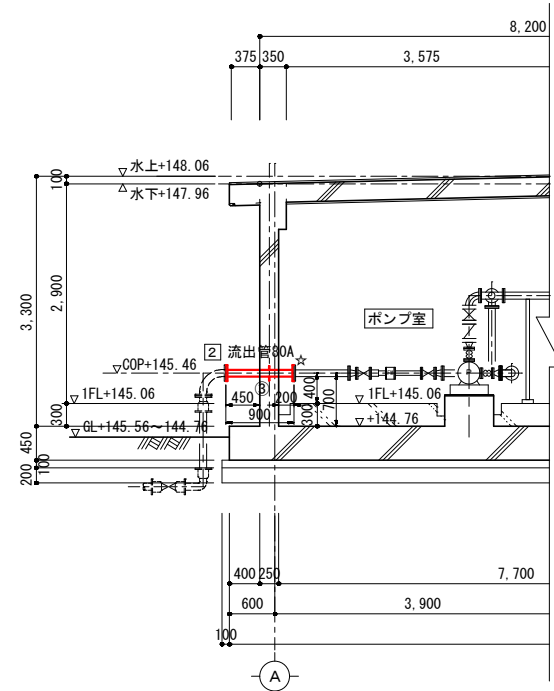
A-A断面图 S=1/50



C—C 断面图 S=1/50



B-B 断面图 S=1/50



D-D断面图 S=1/50

1	流入管	材料表
---	-----	-----

番号	名 称	形 状 寸 法	数 量	備 考
①	SUS-304, Sch20S 両フランジ管	80A×7.5KF 1,050L	2	バドル付
②	SUS-304, Sch20S 両フランジ曲管	80A×7.5KF 90° 145L×145L	2	
③	SUS-316, Sch20S 両フランジ管	80A×7.5KF 3.310L	2	
④	SUS-316, Sch20S ラッパ管	80A×7.5KF 145L	2	

## 2 流出管 材料表

番号	名 称	形 状 寸 法	数 量	備 考
①	SUS-304, Sch20S 両フランジ管	80A×7.5KF×10KF 800L	2	パドル付
②	SUS-304, Sch20S ラッパ管	80A×7.5KF 145L	2	
③	SUS-304, Sch20S 両フランジ管	80A×7.5KF×10KF 900L	1	パドル付

### 3 連通管 材料表

番 号	名 称	形 状 寸 法	数 量	備 考
①	SUS-304, Sch20S 片フランジ管	80A×7.5KF 1,050L	2	バドル付
②	SUS-304, Sch20S 両フランジ曲管	80A×7.5KF 90° 295L×295L	1	
③	SUS-304, Sch20S 両フランジ曲管	80A×7.5KF×10KF 90° 295L×295L	1	
④	SUS-304, Sch20S 両フランジ管	80A×7.5KF×10KF 1,780L	1	
⑤	仕切弁	80A SC53 10KF	1	

#### 4 越流管 材料系

番 号	名 称	形 状 寸 法	数 量	備 考
①	SUS-304, Sch20S 両フランジ管	80A×7.5KF 1,050L	2	パドル付
②	SUS-304, Sch20S 両フランジ曲管	80A×7.5KF 90° 145L×145L	2	
③	SUS-316, Sch20S 両フランジ管	80A×7.5KF 3,810L	2	
④	SUS-316, Sch20S ラッパ管	80A×7.5KF 145L	2	

## 5 排泥管 材料表

番号	名 称	形 状 寸 法	数 量	備 考
①	SUS-304, Sch20S 片フランジ管	80A×7.5KF 1,050L	2	パドル付

### 6 次要注入管 材料表

番号	名 称	形 状 寸 法	数 量	備 考
①	SUS-316, Sch20S 片フランジ管	50A×10KF 600L	2	

## 7 防波管 材料

番 号	名 称	形 状 寸 法	数 量	備 考
	VU有孔管	φ300 3,600L	2	
	VU有孔管	φ150 3,600L	2	

- 注記)
1. 線部は、本工事範囲を示す。
  2. 図面寸法は参考とする。
  3. 躯体貫通部の開口補強は別途工事とする。
  4. 屋外露出部には保温工を施すこと。
  5. ☆印はJIS10KF、無印はJWWA7.5KFとする。

工 事 名	北部清掃工場新排水ポンプ所(仮称)新築ほか1箇所機械設備工事		
事業名	北部清掃工場施設整備事業		
工事場所	鹿児島市犬迫町11900番地ほか		
図面種類	新排水ポンプ所 ポンプ付付帯配管図(2) S=1.50 (A3版S=1:100)		
図面番号	全 16 の 16	作成年月	令和 7 年 3 月
鹿児島市 環境局 資源循環部 北部清掃工場			